

宮城県内の臨床研修病院 問合せ窓口一覧

病院名	担当部署	住所・電話番号	メールアドレス
みやぎ県南中核病院	総務課	柴田郡大河原町字西38-1 0224-51-5500	shomu@southmiyagi-mc.jp
東北労災病院	総務課	仙台市青葉区台原4-3-21 022-275-1111	kensyu@tohokuh.johas.go.jp
東北大学病院	卒後研修センター	仙台市青葉区星陵町1-1 022-717-7765	hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp
JCHO仙台病院	総務企画課	仙台市泉区紫山2-1-1 022-378-9111	soumu@sendai.jcho.go.jp
仙台厚生病院	総務部庶務課	仙台市青葉区広瀬町4-15 022-222-6181	kenshu@sendai-kousei-hospital.jp
東北公済病院	臨床研修事務局	仙台市青葉区国分町2-3-11 022-227-2211	mi-sasaki@tohokukosai.com
仙台医療センター	管理課厚生係	仙台市宮城野区宮城野2-11-12 022-293-1111	113-rinken@mail.hosp.go.jp
東北医科薬科大学病院	卒後研修支援センター	仙台市宮城野区福室1-12-1 022-259-1221	kenshu-shien@hosp.tohoku-mpu.ac.jp
仙台オープン病院	総務課人事係	仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1 022-252-1111	rinshoukenshu@openhp.or.jp
仙台市立病院	総務課人事研修係	仙台市太白区あすと長町1-1-1 022-308-7111	shokuin@hospital.city.sendai.jp
仙台赤十字病院	教育研修推進室	仙台市太白区八木山本町2-43-3 022-243-1111	kyoikukenshu@sendai.jrc.or.jp
仙台徳洲会病院	臨床研修センター	仙台市泉区高玉9-8 022-771-5111	yamauchi@tokushukai.jp
坂総合病院	医師研修担当事務	塩釜市錦町16-5 022-361-7033	kensyu@zmkk.org
総合南東北病院	事務局	岩沼市里の杜1-2-5 0223-23-3151	dr@minamitohoku.jp
大崎市民病院	アカデミックセンター	大崎市古川穂波3-8-1 0229-23-3311	kensyu-och@h-osaki.jp
栗原市立栗原中央病院	事務局総務課	栗原市築館宮野中央3-1-1 0228-21-5330	k-kenshu@kam.or.jp
石巻赤十字病院	教育研修センター	石巻市蛇田字西道下71 0225-24-6812	resident@ishinomaki.jrc.or.jp
登米市立登米市民病院	管理課庶務係	登米市迫町佐沼字下田中25 0224-44-4795	iryoshimin-kanri@city.tome.miyagi.jp
気仙沼市立病院	総務課	気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2 0226-22-7100	hs-somu@kesennuma.miyagi.jp

問合せ・資料請求は下記まで。

発行 宮城県保健福祉部医療人材対策室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

TEL:022-211-2692 FAX:022-211-2694

E-mail:iryozint@pref.miyagi.lg.jp

URL:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryoujinzai/

令和4年6月発行

この印刷物は、1,000部作成し、1部あたりの印刷単価は356.4円です。



あなたの力を
宮城の力に



©宮城県・旭プロダクション
医師確保PRキャラクター
「ドクターむすび丸」

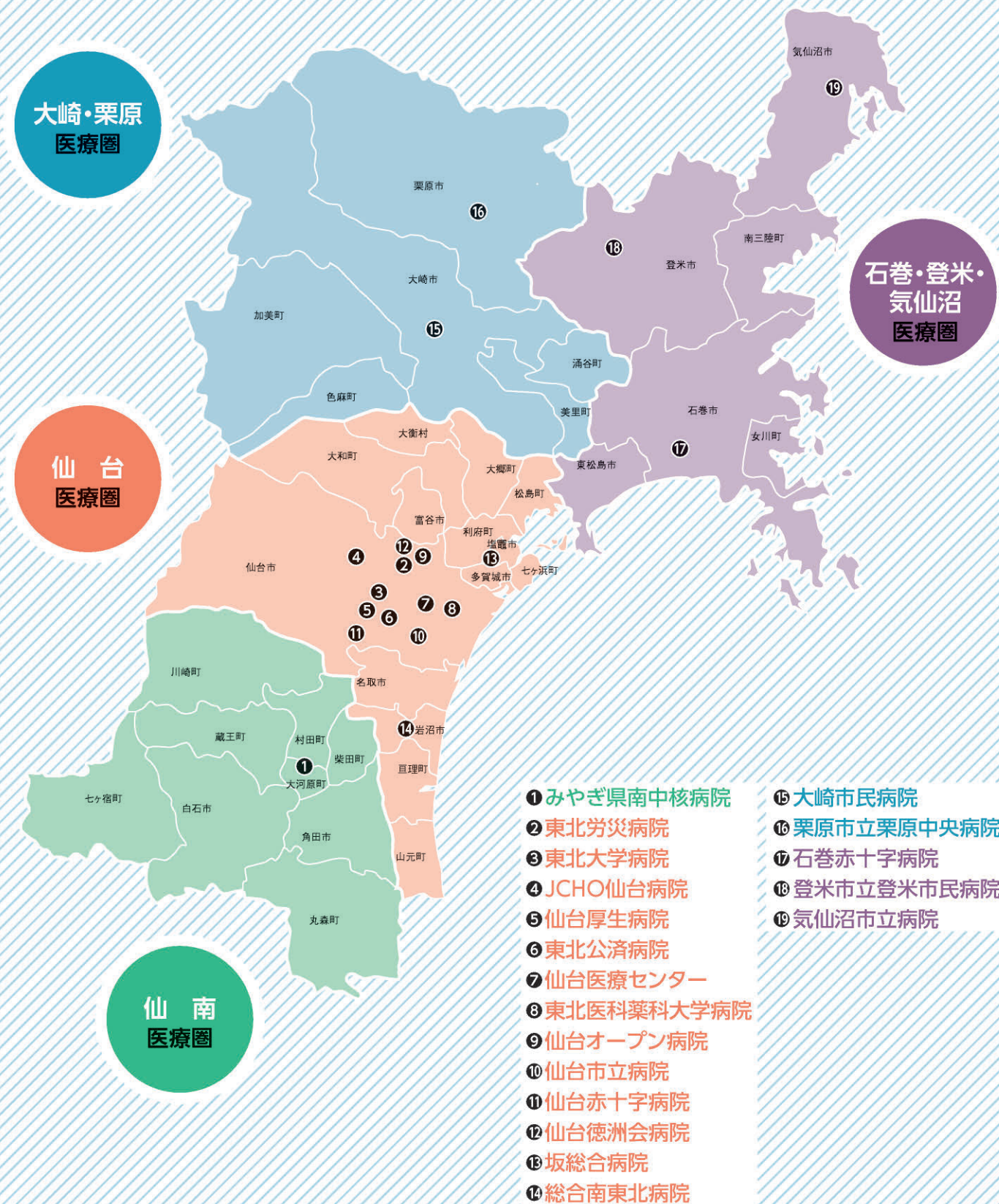
宮城県 臨床研修病院 ガイドブック 2022

宮 城 県



宮城県臨床研修病院ガイドブック2022

臨床研修病院マップ



初期研修は宮城県どうぞ！

本ガイドブックは県内 19 の基幹型臨床研修病院の概要及び研修の概要をとりまとめ、臨床研修病院を探している医学生に紹介するため発行しました。

多くの皆様に宮城の病院を知っていただき、御活躍の場として宮城の地を選んでいただければ幸いです。

〔 初期研修 〕

仙 南 医 療 圏	1 みやぎ県南中核病院	3
仙 台 医 療 圏	2 東北労災病院	5
	3 東北大学病院	7
	4 JCHO仙台病院	9
	5 仙台厚生病院	11
	6 東北公済病院	13
	7 仙台医療センター	15
	8 東北医科薬科大学病院	17
	9 仙台オープン病院	19
	10 仙台市立病院	21
	11 仙台赤十字病院	23
	12 仙台徳洲会病院	25
	13 坂総合病院	27
	14 総合南東北病院	29
大崎・栗原医療圏	15 大崎市民病院	31
	16 栗原市立栗原中央病院	33
石 巻 ・ 登 米 ・ 気 仙 沼 医 療 圏	17 石巻赤十字病院	35
	18 登米市立登米市民病院	37
	19 気仙沼市立病院	39

仙南医療圏

みやぎ県南中核病院

柴田郡大河原町字西

マッチング募集定員9人



院長
宮崎 修吉

当院は、平成14年に宮城県南部の大河原町に開業した310床の自治体病院です。開設後20年とまだ歴史はありませんが、何よりも地域の急性期医療を支える病院を造るというスタッフの意気込みと、各科のコミュニケーションが素晴らしいことが自慢です。常勤医も研修医から刺激を受けながら理想の指導医を目指して奮闘中です。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	みやぎ県南中核病院企業団 企業長 下瀬川徹
病床数	一般310床
診療科目 (常勤医師数)	消化器内科(8)、循環器内科(9)、糖尿病・代謝内科(2)、脳神経内科(4)、呼吸器内科(5)、腎臓内科(2)、腫瘍内科(1)、外科(7)、呼吸器外科(2)、乳腺外科(1)、血管外科(1)、脳神経外科(2)、整形外科(7)、形成外科(2)、皮膚科(2)、小児科(4)、産婦人科(2)、泌尿器科(3)、眼科(1)、耳鼻咽喉科(2)、麻酔科(4)、放射線科(3)、救急科(3)、緩和ケア内科(1)、精神科(1)、歯科口腔外科(2)、病理診断科(1) 計82人
指導医数	42人
一日平均入院患者数	230.0人(令和3年度)
一日平均外来患者数	712.7人(令和3年度)
年間救急搬送患者数	4,318人(令和3年度)
アクセス	JR東北本線大河原駅からバス7分 東北自動車道村田ICから車で15分



病院の特徴

特徴
宮城県南部で唯一の地域医療支援病院であり、「地域でひとつの病院」の合言葉のもと地域のかかりつけ医と緊密な連携をとりながら背景人口11万人の1市3町の急性期疾患の大半を診療している。年間の救急搬入数は約4,300台超達し、最近では1市3町以外の仙南地域からの患者も増加している。

指定状況
救命救急センター、臨床研修病院、災害拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療病院

主な学会認定
日本内科学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本臓器学会、日本呼吸器学会、日本神経学会、日本糖尿病学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本緩和医療学会、日本小児学会、日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本整形外科学会、日本皮膚科学会、日本形成外科学会、日本泌尿器科学会、日本リウマチ学会、日本病理学会 他

女性医師への支援制度
院内保育所完備、子育て支援制度(部分休業、時間休暇、看護休暇、短時間勤務)

研修の概要

特徴
内科系32週、救急科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療(一般外来)4週が必修となっています。内科系は消化器内科、循環器内科・腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科を8週ずつローテーションすることになります。社会人としてスタートしたばかりの研修最初の配属科は11週の研修にしています。精神科と地域医療(一般外来)研修は2年目に行います。2年目の30週間が自由選択期間になりますが、当院のほぼ全ての診療科から自由に選択できます(1科あたり4週間以上が条件)。つまり、複数科をローテーションすることも可能ですし、単一の科を30週間続けて研修することも可能です。自由選択期間中には、東北大学病院や宮城県立がんセンターなどの協力医療機関(*下記参照)において最長8週まで院外研修を行うことも可能です。当院には最先端の医療機器や技術が導入されており、研修医一人当たりの症例数も多く、スタッフとの距離も近く、明るい雰囲気の中で学ぶことができます。学術活動も活発で、地方会をはじめ全国学会、国際学会でも多くの発表を行っています。



採血実習



PICC講習

年間スケジュール（例）												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	消化器		救急		循環器・腎臓			小児	産婦	脳神経内科		外科
2年次	外科	呼吸器内科		精神	地域医療	自由選択						

- 協力型病院(科目)
東北大学病院(血液免疫科、腎高血圧内分泌科、腫瘍内科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、小児科、救急科、形成外科、皮膚科、産婦人科、眼科、精神科ほか)、宮城県立精神医療センター(精神科)、宮城県立がんセンター(血液内科、呼吸器外科、緩和医療科)、宮城県立こども病院(小児科)、東北医科薬科大学病院(産婦人科)、スズキ記念病院(産婦人科)
- 協力施設
丸森町国民健康保険丸森病院、大泉記念病院、平井内科、附属村田診療所、南桜ホームケアクリニック

研修医数(R4.4.1現在) 1年次9人(男性6人、女性3人) 2年次9人(男性9人、女性0人)

研修修了後の進路 当院で後期研修4人、東北大学病院2人、大崎市民病院1人、八戸市民病院1人、多摩総合医療センター1人、日本生命病院1人

処遇

身分	みやぎ県南中核病院 非常勤
給与	1年次 月額(諸手当・税込) およそ500,000円~600,000円 2年次 月額(諸手当・税込) およそ600,000円~700,000円
賞与	年2回支給
当直	月4~6回(日直含む)
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり】
宿舎	有(家賃無料、光熱水費のみ自己負担)



借り上げアパート

募集要項

募集定員	9人
応募資格	第117回医師国家試験受験予定者
選考方法	小論文、面接
申込期間	令和4年7月末まで
試験日	令和4年8月5日(金)、19日(金)(2日実施のうち都合のいい日を選択)
病院見学	随時可能。あらかじめ総務課宛にお送りください。折り返し担当者よりご連絡いたします。
連絡先	〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1 総務課(担当:大内) 電話:0224-51-5500 FAX:0224-51-5515 E-mail:shomu@southmiyagi-mc.jp URL:https://www.southmiyagi-mc.jp

仙台医療圏

東北労災病院

仙台市青葉区台原

マッチング募集定員 10 人



院長
井樋 栄二

東北労災病院は、仙台市中心部近くに位置する二次救急医療機関であり、地域の中核病院として大きな役割を担っています。当院は、内科・外科の common disease や骨折などの外傷を適切に治療し、速やかに家庭・社会復帰をして頂くことを使命と考えています。
よき医学・医療者を目指す多くの研修医の参集を期待しております。

病院の概要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

開設者	独立行政法人労働者健康安全機構 理事長 有賀 徹
病床数	一般 548 床
診療科目 (常勤医師数)	総合診療科(1)、消化器内科(12)、肝臓科(3)、糖尿病・代謝内科(4)、腫瘍内科(1)、緩和ケア内科(1)、循環器内科(3)、高血圧内科(1)、呼吸器内科(9)、腎臓内科(2)、呼吸器外科(1)、リウマチ科(3)、精神科・心療内科(2)、小児科(3)、外科(11)、救急科(1)、整形外科(11)、脳神経外科(1)、皮膚科(3)、泌尿器科(4)、眼科(2)、耳鼻咽喉科(5)、リハビリテーション科(2)、放射線診断科(2)、放射線治療科(1)、麻酔科(7)、病理診断科(2)、検査科(1)、健康診断部(2) 計 101 人(専攻医含み、初期研修医除く)
指導医数	55 人(指導医講習会受講済)
一日平均入院患者数	351.5 人(令和 3 年度)
一日平均外来患者数	961.4 人(令和 3 年度)
年間救急搬送患者数	3,008 人(令和 3 年度)
アクセス	【バス】(仙台駅バスプール 2 ～ 4 番乗り場) 黒松団地・地下鉄泉中央駅方面行き、台原入口下車 【J R】仙山線 北仙台駅下車、徒歩 10 分 【地下鉄】南北線 台原駅下車、徒歩 10 分



病院の特徴

特徴
当院は、全国展開する労災病院のうちのひとつで、勤労者と地域住民の皆様の健康を守る病院として、地域の急性期医療を主体的に展開しています。特徴として、消化器系と整形外科とで多くの病床を確保しています。内科は、幅広い診療領域をカバーし、スタッフが充実しています。外科では消化器癌手術と腹腔鏡下手術を中心に高い技術を誇ります。整形外科は、東北有数の人工関節手術実施施設であり、その他耳鼻咽喉科も多くの人工内耳埋込術実施件数を誇ります。がん診療については、地域がん診療連携拠点病院として、がんの検診と診断から手術、化学療法、放射線療法、職場復帰そして緩和医療まで総合的に治療できる体制を整えています。

指定状況
二次救急医療機関、臨床研修指定病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院、NPO 法人卒後臨床研修評価認定病院

主な学会認定
肝臓学会、呼吸器学会、外科学会、高血圧学会、呼吸器外科学会、消化器外科学会、消化器内視鏡学会、消化器病学会、循環器病学会、整形外科学会、糖尿病学会、内科学会、内分泌学会、泌尿器科学会、病理学会、リウマチ学会、臨床腫瘍学会、乳癌学会、日本救急医学会 他

女性医師への支援制度
育児休業制度等があり、かつ院内保育所も完備しており働きやすい環境を整えています。

研修の概要

特徴
多くの診療科、専門性の高い医師が揃っていることから common disease から稀少疾患までさまざまな疾患・症例を経験でき、それぞれの深い知識が得られます。
教育体制は上級医と指導医がつく屋根瓦方式で、マンツーマン + α の手厚い指導を行います。ローテーションは、自由度が高いのが特徴です。研修の記録・評価については EPOC2 を利用し、すべての研修について評価を行い、評価をフィードバックし、研修を改善する態度を身につけることができます。

年間スケジュール (例) 1 年を 13 分割し、4 週単位でローテイトします。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科					外科	麻酔科	救急科	小児科	選択科目		
2 年次	救急		精神科	地域医療	産婦人	選択科目 (必須科含む)						

- 協力型病院 (科目)
東北大学病院 (救急部門、産婦人科)、東北公済病院・仙台医療センター・横浜労災病院 (産婦人科)、東北会病院 (精神科)、広南病院 (脳血管内科)、秋田労災病院 (地域医療)、宮城県立こども病院 (小児科)、JCHO 仙台病院 (一般外来)
- 協力施設
仙台往診クリニック、吉成台内科胃腸科、仙台市保健所、宮城県赤十字血液センター
R5 年度から松田病院、富谷中央病院

研修医数 (R4.4.1 現在) 1 年次 10 人 (男性 6 人、女性 4 人) 2 年次 12 人 (男性 9 人、女性 3 人)
2 年次に 2 名のタスキ掛け含む

研修修了後の進路 ほとんどが進路先病院の専門研修プログラムへ進みます。
当院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、仙台医療センター、岩手医科大学附属病院、岩手県立中央病院、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉医科大学総合医療センター 等
(当院の場合は、内科専門研修プログラム、整形外科専門プログラム)

処遇

身分	初期研修医 (嘱託職員)
給与	1 年次 月額 44 万円程度 2 年次 月額 49 万円程度 (各諸手当を含む)
賞与	1 年次 121,000 円 2 年次 154,000 円 (令和 3 年度実績)
当直	1 年次 月 4 回 2 年次 月 4 回
保険	健康保険、厚生年金、確定拠出型年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	宿舎及び借り上げ宿舎 有 (1 K、自己負担 11,000 ～ 22,000) 自己で賃借の場合 上限 28,000 円の補助あり
その他	院内保育所 (7:30 ～ 19:00) あり

募集要項

募集定員	10 人
応募資格	第 117 回 (令和 5 年実施) 医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、面接、小論文
申込期間	令和 4 年 7 月下旬まで随時
試験日	令和 4 年 8 月上旬 (決定次第、下記 URL にて掲載)
病院見学	随時 (下記 URL の病院見学申込みフォームから申込み下さい。)
連絡先	〒 981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4-3-21 総務課 (担当: 藤井、阿部、草苅) 電話: 022-275-1111 FAX: 022-275-4431 E-mail: kensyu@tohoku.h.johas.go.jp URL: https://www.tohoku.h.johas.go.jp/index.html

仙台医療圏

東北大学病院

仙台市青葉区星陵町 1 番 1 号

マッチング募集定員 38 人



院長
堀永 悌二

東北大学病院の初期研修プログラムの
特徴は、研修医自らが自由度の高い研修
プログラムを組み立てることができる点、
多様な臨床研修協力病院でプライマリ・
ケアから先進医療まで広く経験できる点
があげられます。伝統ある研修指導を通
じて、患者さんに優しく、真に実践力のある
臨床医を育てます。

病院の概要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

開設者	国立大学法人 東北大学 総長 大野 英男
病床数	1,160 床（一般 1,118 床，精神 40 床，感染症 2 床）
診療科目 （常勤医師数）	循環器内科 (20)，総合感染症科 (6)，腎・高血圧・内分泌科 (15)，血液内科 (14)，リウマチ膠原病内科 (10)，糖尿病代謝科 (12)，消化器内科 (18)，漢方内科 (1)，加齢・老年病科 (5)，心療内科 (3)，呼吸器内科 (21)，腫瘍内科 (12)，総合外科 (61)，心臓血管外科 (10)，整形外科 (21)，形成外科 (10)，麻酔科 (34)，緩和医療科 (8)，呼吸器外科 (12)，産科・婦人科 (33)，泌尿器科 (12)，脳神経内科 (18)，脳神経外科 (12)，精神科 (20)，小児科・小児腫瘍科 (44)，遺伝科 (4)，皮膚科 (20)，眼科 (23)，耳鼻咽喉・頭頸部外科 (18)，リハビリテーション科 (16)，放射線科 (40)，救急科 (16)，総合診療科 (4)，歯科部門 (126) 計 699 人
指導医数	266 人（指導医講習会受講済数）
一日平均入院患者数	873 人（令和 3 年度）
一日平均外来患者数	3,113 人（令和 3 年度）
年間救急搬送患者数	2,834 人（令和 3 年度）
アクセス	地下鉄北四番丁駅下車 北 2 出口より八幡町方面徒歩 10 分 仙台市営バス，宮城交通バス 大学病院前下車すぐ。仙台駅から タクシーで 20 分位。



病院の特徴

特徴
「社会の要請に応える開かれた病院」，「最先端の医療技術の開発・応用・評価」，「着実かつ独創的な研究の推進」，「人間性豊かな医療人の養成」，「患者の人間性を尊重した全人的医療と高度に専門化した先進的医療の調和」，これらの基本理念をもとに，『患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院』づくりを進めています。

指定状況
特定機能病院，宮城県災害拠点病院，がん診療連携拠点病院，小児がん拠点病院，造血幹細胞移植推進拠点病院，がんゲノム医療中核拠点病院，第三次救急医療機関，基幹型臨床研修指定病院，等

主な学会認定
日本内科学会，日本小児科学会，日本皮膚科学会，日本精神神経学会，日本外科学会，日本整形外科学会，日本産科婦人科学会，日本眼科学会，日本耳鼻咽喉科学会，日本泌尿器科学会，日本脳神経外科学会，日本医学放射線学会，日本麻酔科学会，日本病理学会，日本臨床検査医学会，日本救急医学会，等ほとんどすべての学会

女性医師への支援制度
【女性休憩室】あり
【託児施設】保育園（敷地外，常時・一時・延長・終夜保育），病後児保育室あり。
【妊娠時】通院時間の確保，通勤緩和，深夜勤務等の就業制限，業務軽減。
【出産時】産前及び産後休暇各 8 週間取得可能。
【出産後】育児休業，育児短時間勤務，子の看護休暇，時間外勤務の制限

研修の概要

特徴
東北大学病院の初期研修は，当院と様々な規模の臨床研修協力病院・施設を組み合わせで自分だけの研修スケジュールを作成することができます。これにより大学病院での高度先進医療と，プライマリ・ケアの両方を経験できます。地域医療により関心のある方は，宮城県内の中核病院を中心に複数の医療施設で研修する「地域医療重点プログラム」，基礎医学研究に意欲のある方には，「基礎研究医プログラム」をお勧めします。
初期研修修了後は専門研修へのスムーズな移行が可能です。当院では基本 19 領域全ての研修はもちろん，多数のサブスペシャルティ領域の研修も整備しております。初期研修，専門研修，その後の生涯研修がシームレスに繋がる当院で，医師としての第一歩を踏み出しましょう。



年間スケジュール ※ 1 ヶ月単位の研修を行います。

※東北大学病院自由選択プログラム（例）

	1～4週	5～8週	9～2週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	48～52週
1 年次	内 科 本院・協力病院						救急 本院・協力病院		必修科（外科・小児・産婦・精神） 本院・協力病院				
2 年次	地域医療・外来	救急 本院	自由選択 本院・協力病院・協力施設										

※**地域医療重点プログラム（例）** ※本プログラムで研修を行った場合，本院以外の研修期間は宮城県医学生修学資金の義務年限とみなします。

	1～4週	5～8週	9～2週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	48～52週
1 年次	本院（必修科・選択科）							石巻赤十字病院，大崎市民病院，県南中核病院から 1 施設選択					
2 年次	石巻赤十字病院，大崎市民病院， 県南中核病院から 1 施設選択			気仙沼市立病院，登米市民病院， 栗原中央病院，刈田綜合病院から 1 施設選択					本院（必修科・選択科）				

※このほか，東北大学病院小児科・産婦人科プログラム，基礎研究医プログラムがあります。

●協力型病院
仙台医療センター，仙台市立病院，みやぎ県南中核病院，大崎市民病院，石巻赤十字病院，気仙沼市立病院等

●協力施設
南三陸病院，気仙沼市立本吉病院，岩手県立高田病院，仙台市生出診療所等

研修医数（R4.4.1 現在）1 年次 21 人（男性 16 人，女性 5 人）2 年次 34 人（男性 23 人，女性 11 人）

研修修了後の進路 当院専攻医，東北大学大学院，大崎市民病院等

処遇

身分	准職員 医員（研修医）
給与	月額 9,075 円 + 諸手当 * 1 年次・2 年次とも 月額 300,000 円程度（税込）の収入が見込まれます。
賞与	1 年次・2 年次 年額（税込）0 円
当直	1 年次・2 年次 月 5 回
保険	健康保険，厚生年金保険，労災保険，雇用保険，医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入要】
宿舍	有（1 K，単身者用 60 室，使用料 15,000 円（インターネット使用料込，光熱水料別），2014 年 3 月竣工，免震構造）
その他	保育園（敷地外，常時・終夜・一時保育），病後児保育室（院内，7:30 ～ 18:00 予約制）あり

募集要項

募集定員	40 人（基礎研究医プログラム 2 名含む・マッチングとは別枠）
応募資格	第 117 回（令和 5 年実施）医師国家試験受験を予定している方
選考方法	面接試験
申込期間	決定次第，東北大学病院卒後研修センターホームページに掲載します。
試験日	詳細は東北大学病院卒後研修センターホームページをご覧ください。
病院見学	随時
連絡先	卒後研修センター TEL：022-717-7765 FAX：022-717-7143 E-mail：hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp URL：http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/

仙台医療圏

JCHO仙台病院

宮城県仙台市泉区紫山

マッチング募集定員6人



院長
村上 栄一

当院の医局は全科が同じフロアーにあり、科ごとの垣根が低く、余分な配慮を必要としない病院です。当院には情熱を持った指導医がおり、プログラムも工夫されております。症例をたくさん経験して、実の取れる研修ができると思います。一緒に、楽しく、患者さんのための医療を提供してきましょう！

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 尾身 茂
病床数	一般 384 床
診療科目 (常勤医師数)	総合診療科 (2), 高血圧・糖尿病 (2), 消化器科 (4), 循環器科 (4), 小児科 (3), 外科・血管外科・移植外科・乳腺外科 (9), 整形外科 (6), 皮膚科 (1), 泌尿器科 (5), 腎臓内科 (10), 婦人科 (1), 眼科 (1), 耳鼻咽喉科 (2), 放射線科 (1), 麻酔科 (4), 歯科・歯科口腔外科 (2), 健診センター (2), 検査部 (1), 内科専攻医 (1), 初期研修医 (10) 計 71 人
指導医数	36 人
一日平均入院患者数	279.7 人 (令和3年度)
一日平均外来患者数	416.2 人 (令和3年度)
年間救急搬送患者数	1,625 人 (令和3年度)
アクセス	仙台駅から宮城交通バスで約 50 分、または地下鉄で泉中央駅に移動し宮城交通バスで約 20 分、お車は泉パークタウン方面へ。詳しくは HP をご参照ください。



病院の特徴

特徴
JCHO 仙台病院は歴史的に腎臓病を診療の核としており、現在も腎センターは東北地方の最後の砦としての診療業務の傍ら世界レベルでの論文発表を続けています。その地力を生かしながら、初期臨床研修については経験疾患が偏ることのないよう配慮し、協力病院の支援も得て多彩な疾患の経験、多様なセッティングでの診療の機会を用意することができました。2021 年 5 月に新病院移転を果たし、救急部門・小児科も院内研修が可能となるなど今まさに追い風吹く JCHO 仙台病院。活力ある皆さんのご応募を病院職員一同お待ちしております。

指定状況
臨床研修指定病院 (基幹型), 救急告示病院, 病院群当番制事業参加病院, DPC 対象病院, 東北大学病院地域医療連携施設登録機関

主な学会認定
日本内科学会認定医制度教育関連病院, 日本外科学会認定医制度修練施設, 日本腎臓学会研修施設, 日本整形外科学会認定研修施設, 日本泌尿器科学会専門医教育施設, 日本超音波医学会超音波専門医研修施設, 日本麻酔科学会認定研修施設, 日本がん治療認定医機構認定研修施設

女性医師への支援制度
院内保育所完備、専用休憩室

研修の概要

特徴
本研修プログラムの特色の第一は、1 年次に内科系、外科系 (麻酔科を含む) を半年ずつ 配し、内科・外科それぞれの基本的診療能力や考え方の土台を身に付けてもらう十分な期間を確保した点が挙げられる。半年の長きにわたり内科あるいは外科という一つの臨床文化に染まることで、学生時代のような短期間のローテーションとは異なる形での診療能力の獲得と、自分なりの思考力の形成に努めてもらいたい。
次に、必修期間内も含めて、研修医が選択できるローテーションの選択肢が広い点が挙げられる。内科・外科の中でのサブスペシャリティの選択や、救急 部門の院外研修先の選択、地域医療における離島診療所・農村型小規模慢性期病院・都市型慢性期病院の選択、さらに約 6 か月間の自由選択期間を含めると、本プログラムの拡張可能性は無限大である。是非自らの目指す将来像にあった、自分だけの研修計画を立てて実行してもらいたい。
最後に、6 ヶ月の自由選択期間を配したことによりスペシャリストへの第一歩を踏み出す機会を用意した。初期臨床研修と専門医研修は決して断絶するものではなく、むしろ有機的につながるべきである。当院が特色を持って診療を展開している分野に将来を見据える者は、是非 積極的に専門的な内容にチャレンジしてもらいたい。ただし、当院は general physician としての素養を十分に身に付けたものしか真の専門医にはなりえないという文化を持っており、専門領域以外への真摯な研修姿勢は一層求められる。

年間スケジュール
ローテーション例 (順番は任意)

1 年次	内科系診療科 26 週					麻酔科 8 週	外科系診療科 16 週
2 年次	緊急 8 週	産婦 4 週	小児 4 週	精神 4 週	地域 4 週	外来 2-4 週	自由選択 24-26 週

●協力型臨床研修病院・研修協力施設群

- ・仙台オープン病院 (救急部門・消化器科・呼吸器科)
- ・仙台市立病院 (小児科)・東北公済病院 (産婦人科)・仙台赤十字病院 (小児科・産婦人科)
- ・国見台病院 (精神科)・JCHO 東京新宿メディカルセンター (救急部門)
- ・仙台医療センター (脳神経内科、脳神経外科)・東北医科薬科大学病院 (精神科)
- ・栗原市立若柳病院 (地域医療)・松田病院 (地域医療)・網小医院 (地域医療)

研修医数 (R4.4.1 現在) 1 年次 5 人 (男性 4 人) 2 年次 6 人 (男性 5 人)

研修修了後の進路 当院で内科専門研修、近隣機関での専門研修

処遇

身分	臨床研修医 (任期付医師)
給与	〔見込〕 1 年次 : 501,580 円 2 年次 : 522,692 円
賞与	〔見込〕 1 年次 : 980,000 円 2 年次 : 1,400,000 円
当直	1 年次 月約 4 回 2 年次 月約 4 回
保険	健康保険, 厚生年金, 労災保険, 雇用保険, 医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	無
その他	健康診断年 2 回, 予防接種

募集要項

募集定員	6 人
応募資格	第 117 回 (令和 5 年実施) 医師国家試験受験予定者
選考方法	面接
申込期間	令和 4 年 8 月 5 日まで
試験日	令和 4 年 9 月 4 日
病院見学	soumu@sendai.jcho.go.jp に「病院見学希望」のタイトルでメールにて申し込み
連絡先	〒 981-3281 宮城県仙台市泉区紫山 2-1-1 総務企画課 (担当 : 小西・橋本) 電話 : 022-378-9111 FAX : 022-378-9131 E-mail : soumu@sendai.jcho.go.jp URL : http://sendai.jcho.go.jp

仙台厚生病院

仙台市青葉区広瀬町

マッチング募集定員 10人



院長
畑 正樹

医師としての第一歩を踏み出す時の研修病院のレベルの高さは、その人の医師人生を大きく左右します。最初に見る「峰」はできるだけ高い方が自らの目標や針路を見つけやすいものです。単なる専門医ではなく、「一流の」専門医を目指す志の高い諸君を心から歓迎します。

研修の概要

特徴

当院は総合病院方式をとらず、心臓血管・呼吸器・消化器の大型3センターに人材と医療資源を集中投入し、これらの領域における最高水準の診断と治療を提供しています。各センターはわが国でその領域を代表する医師を中心とした高度かつ大型のチーム体制を敷き、最先端の機器を導入して診療にあたっています。小児科や交通外傷、脳血管疾患、産婦人科、精神科については協力病院での研修となりますが、いずれも地域最高レベルの病院を選択しています。これは1診療科あたりの症例及びスタッフ数が制限されがちな総合病院では得られない体験となることでしょう。また、2009年度から麻酔科指導医のもと中心静脈カテーテル挿入プログラムを導入し、安全かつ確実な技術の習得を図っています。



最初のオリエンテーションで医師として基本的な知識、手技を修得する時期を設けており、自信を持って診療科ローテーションに入ることができます。さらに、6人当直体制により救急体制も充実しており、月に約4回ある副当直時には、各科の指導医とともに診察を行うことが出来ます。そして、1人あたりの経験できる症例・手技が多いことも当院の特色です。また、各種学会の専門医・認定医の指導施設であるため、内科を希望する研修医は、臨床研修修了後は内科専攻医として専門医等を目指しながら、さらに研鑽を積む選択肢も用意されています。福利厚生の一環として完成した職員宿舎は研修医から大変好評で、さらなる快適な研修生活を提供できることと確信しています。

年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	(入職時オリエンテーションあり) 内 科						外 科			救 急		
2年次	産婦人科	小児科	精神科	地域医療 一般外来		自由選択（必修及び選択必修科目、心臓血管外科、放射線科、 麻酔科、病理診断・臨床検査科など複数選択可能）						

●協力型病院（科目）

東北大学病院（産婦人科）、宮城県立こども病院（小児科）、宮城県立精神医療センター（精神科）、総合南東北病院（救急、麻酔科）、気仙沼市立病院（救急）、広南病院（脳血管内科、脳神経外科）、JCHO 仙台病院（救急、腎センター内科）、岩手県立磐井病院（救急、小児科、産婦人科）
注）救急部門は、仙台厚生病院・総合南東北病院・気仙沼市立病院・JCHO 仙台病院・岩手県立磐井病院のいずれかで研修

●協力施設

宏人会木町病院、羽二生クリニック、仙台往診クリニック、宮城県赤十字血液センター、古川星陵病院、永仁会病院、仙石病院、涌谷町国民健康保険病院

●研修医数（R4.4.1 現在）1年次 2人（男性2人）2年次 6人（男性6人）

●研修修了後の進路 当院内科専攻医または他施設へ

処遇

身 分	常勤職員
給 与	1年次 月額（税込）456,000 円 2年次 月額（税込）524,000 円（当直・超過勤務手当含む、但し個人差あり）
賞 与	1年次 年額（税込）1,080,000 円 2年次 年額（税込）1,185,000 円
当 直	1年次 月4回 2年次 月4回（但し、見学を基本とする副当直）
保 険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿 舎	有（1LDK）※詳細はホームページをご覧ください。
そ の 他	院内保育所：開園時間 7:30 ～ 19:00(延長・泊有) 生後9週～就学前の子を対象（定員 59 人）

募集要項

募 集 定 員	10人
応 募 資 格	第117回（2023年実施）医師国家試験受験予定者、マッチングプログラム参加者
選 考 方 法	書類審査、面接
申 込 期 間	2022年9月頃まで（ホームページをご覧ください）
試 験 日	2022年8月頃～順次実施予定
病 院 見 学	随時
連 絡 先	〒980-0873 宮城県仙台市青葉区広瀬町4-15 総務部庶務課（医学教育支援室担当） 電話：022-222-6181 FAX：022-267-0856 E-mail：kenshu@sendai-kousei-hospital.jp URL：http://www.sendai-kousei-hospital.jp/

病院の概要

（令和4年4月1日現在）

開 設 者	一般財団法人厚生会 理事長 目黒 泰一郎
病 床 数	一般 409 床
診 療 科 目 （ 常 勤 医 師 数 ）	循環器内科（25）、不整脈科（4）、心臓血管外科（8）、呼吸器内科（20）、呼吸器外科（4）、消化器内科（19）、消化器外科（9）、肝臓内科（2）、放射線科（6）、麻酔・集中治療科（7）、総合健診センター（3）、病理診断・臨床検査科（4）計 111 人
指 導 医 数	38 人
一日平均入院患者数	394.0 人（令和3年度）
一日平均外来患者数	430.5 人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	5674 人（令和3年度）
ア ク セ ス	バス：仙台駅パスポール（10）（15）番乗り場より大学病院・八幡町経由に乗車「厚生病院前」下車、 仙台駅パスポール（16）番乗り場より大学病院経由に乗車「厚生病院前」下車 地下鉄：北四番丁駅・国際センター駅下車徒歩 15 分 車：仙台駅から 15 分、仙台宮城 IC より 10 分

病院の特徴

特徴

＜地域医療支援病院＞

高度先進医療と救急医療に力を入れ、診療所や病院との連携を強め、1,400 名を超える登録医の先生方からの紹介患者、救急患者を中心に診療を行っています。

＜3 センターの手術数は東北トップクラス＞

心臓血管センターは虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）で全国トップクラスの症例数を誇り、またカテーテル手術件数では 20 年連続で全国ベスト 15 にランクインしています。経カテーテル的大動脈弁植え込み術も早くから行っており、2020 年には 247 例実施しています。心臓バイパス手術も東北 1 位の実績があり、消化器センターでは胃がん内視鏡手術数が東北 1 位（全国 3 位）、大腸がん内視鏡治療数が東北 1 位、呼吸器センターでは肺がん手術数が東北 1 位、その他の部門でも常に上位の実績を誇っています。

＜モバイル CCU＞

1 分 1 秒を争う救急患者のもとへ医師と看護師が乗り込み、救急車内で治療が可能となるモバイル CCU が稼働しています。心筋梗塞治療に威力を発揮します。

指定状況

地域医療支援病院、臨床研修指定病院、二次救急指定病院

主な学会認定

日本内科学会認定医制度教育病院、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、呼吸器外科専門医制度認定基幹施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本消化器がん検診学会認定指導施設、日本感染症学会研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本核医学会専門医教育病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、ステントグラフト実施施設（腹部・胸部大動脈瘤）、日本肝胆膵外科学会肝胆膵高度技能専門医修練施設 A、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設、日本病理学会研修認定施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本カプセル内視鏡学会指導施設、経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、日本肝臓学会認定施設、JCOG 参加施設認定、日本放射線腫瘍学会認定施設、経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設、経カテーテル的大動脈弁置換術指導施設、日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医連携修練施設、日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設、IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設、経皮的動脈管閉鎖術施行施設、経皮的心房中隔欠損閉鎖術施行施設、潜因性脳梗塞に対する卵円孔開閉閉鎖術実施施設

女性医師への支援制度

院内保育所：開園時間 7:30 ～ 19:00(延長・泊有) 生後9週～就学前の子を対象（定員 59 人）
子宮頸がんワクチン接種（希望者のみ / 院外接種、費用病院負担）

東北公済病院

仙台市青葉区国分町

マッチング募集定員 6 人



院長
仁尾 正記

当院は中規模病院ですが上級医が充実しており、その指導の下にできる限り「臨床は体で覚える」を研修の根本としています。仙台の中心部にあり、地域の診療所との連携さらには地域住民との繋がりを重視しております。また、虎ノ門病院を中心として 32 の連合会病院ネットワークの中で、シミュレーションラボセンターでの研修など、独特なプログラムを構築することもできますので、厳しい中にも充実感を感じる研修期間を過ごすことができると確信しています。

病院の概要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

開設者	国家公務員共済組合連合会 理事長 松元 崇
病床数	一般 385 床
診療科目 (常勤医師数)	内科(消化器内科・腎臓内科・内分泌代謝内科)(12)、循環器内科(2)、外科(消化器外科・乳腺外科)(8)、小児科(4)、整形外科(4)、麻酔科(6)、産科・婦人科(9)、眼科(2)、耳鼻いんこう科(3)、泌尿器科(1)、歯科口腔外科(2)、形成外科(3) リハビリテーション科(2) 病理診断科(1) 計 60 人
指導医数	34 人
一日平均入院患者数	243 人(令和 3 年度)
一日平均外来患者数	629 人(令和 3 年度)
年間救急搬送患者数	1,677 人(令和 3 年度)
アクセス	仙台駅より徒歩 20 分、地下鉄南北線広瀬通駅下車徒歩 7 分 東北自動車道仙台宮城 IC から車で 10 分



病院の特徴

特徴

当院は中規模病院ですが、仙台市内の中心部にあり、地域の診療所との連携、さらには地域住民とのつながりを重視しております。上級医、指導医が充実しており、この規模の病院としては珍しく各科の垣根が低く、他科の医師同士も非常に仲がよいので気軽に相談しやすいのが特徴です。また、女性医師が多く在籍しており、女医さんが他のスタッフに気兼ねなく働きやすい環境になっており、女性研修医も受け入れやすい状況です。ほかの大規模病院に比べると経験する症例数は多少少ないかもしれませんが、その分しっかり指導医から教育する時間がとれますし、研修医自身の自分の時間も十分にもてる環境だと思います。一例一例じっくりと熟考しながら患者さんを診ることができるので、臨床研修に多少自信のない方にも快適な研修生活を送ることができると自負しております。

指定状況

二次救急医療機関、基幹型臨床研修病院、BFH 認定施設、日本医療機能評価機構認定

主な学会認定

日本内科学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本整形外科学会、日本消化器病学会、日本乳がん学会、日本眼科学会、日本超音波医学会、日本産科婦人科学会、日本麻酔科学会、日本泌尿器科学会、日本臨床細胞学会、日本耳鼻いんこう科学会、日本消化器内視鏡学会、日本循環器学会、日本周産期・新生児医学会、日本高血圧学会、日本形成外科学会、日本がん治療学会

女性医師への支援制度

- 院内保育所完備
- 産前休暇(産前 6 週間)、産後休暇(産後 8 週間)、育児休業、育児短時間勤務、子供の看護休暇などの取得が可能



研修の概要

特徴

当院の研修プログラムは「総合プログラム」および「産婦人科研修先行プログラム」の 2 種類から選択できる。選択科目は研修医自身の希望でフレックスプログラムにすることが可能である。当院の特徴としては、どの科をローテーションしていても、各科の垣根が低いので他の科の指導医に相談しやすいことである。また、当院産婦人科は東北有数の分娩数、乳腺外科は東北一の手術件数を誇っており、「産婦人科研修先行プログラム」は女性医療を希望する研修医にとってはうってつけのプログラムである。勤務している女性医師の数が総医師数の約 3 分の 1 と割合が高く女性医師が働きやすい環境であるといえる。

さらに救急研修にあたっては、症例数の豊富な仙台市立病院又は石巻赤十字病院又は東北大学病院において研修を行う。精神科研修は仙台市内の東北会病院または国見台病院、地域研修としては仙台市内の定禅寺フローレンスクリニック、あんどろクリニック、永井産婦人科、南三陸町の町立南三陸病院または東京都の離島にある町立八丈病院と異なった環境での研修が可能である。初期研修医の募集定員をあえて 6 名とすることで、しっかり最後まで指導できる体制としている。

年間スケジュール

「総合プログラム」												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科		外科		救急	
2年次	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	自由選択または選択必修							

「産婦人科研修先行プログラム」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	産婦人科				小児科		麻酔科		救急		内科	
2年次	内科				外科		地域医療 精神科		泌尿器科	自由選択または選択必修		

●協力型病院(科目)

東北大学病院(病理部・救急・剖検・C P C)、仙台市立病院(救急)、石巻赤十字病院(救急)、町立八丈病院(地域医療)、町立南三陸病院(地域医療)、定禅寺フローレンスクリニック(地域医療)、あんどろクリニック(地域医療)、東北会病院(精神科)、国見台病院(精神科)

●協力施設

永井産婦人科病院、宮城県赤十字血液センター、青葉区保健福祉センター

●研修医数(R4.4.1 現在) 1 年次 6 人(男性 4 人女性 2 人) 2 年次 6 人(男性 4 名女性 2 名)

●研修修了後の進路 当院で後期研修、東北大学大学院、福島県立医科大学、埼玉県立医科大学等

処遇

身分	非常勤職員
給与	1 年次 月額(税込) 486,000 円 2 年次 月額(税込) 571,000 円
賞与	無
当直	1 年次 月 4 ～ 5 回 2 年次 月 4 ～ 5 回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり】
宿舎	無(住宅手当月額 28,000 円まで支給)
その他	Medical Online、医中誌など Web 閲覧可能、院外 BLS、ACLS などの受講料補助制度あり、学会への参加費用支給あり、健康診断年 2 回、予防接種、院内保育所あり

募集要項

募集定員	6 人
応募資格	第 117 回(2023 年実施)医師国家試験受験予定者、マッチングプログラム参加者
選考方法	書類審査、面接
申込期間	令和 4 年 8 月 31 日まで随時
試験日	令和 4 年 8 月下旬頃予定(相談に応じます)
病院見学	随時対応いたしますのでお気軽にご連絡下さい。
連絡先	〒 980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 2-3-11 臨床研修事務局(担当:佐々木) 電話: 022-227-2211 FAX: 022-263-8069 E-mail: mi-sasaki@tohokukosai.com URL: http://www.tohokukousai.com

仙台医療圏

仙台医療センター

仙台市宮城野区宮城野

マッチング募集定員 19人



院長
上之原 広司

令和元年5月1日改元の日には新築移転しました。東北大学病院とドクヘリ共同運航を行っている基地病院です。救命救急センター30床、基幹災害拠点病院などの機能を備える県を代表する急性期病院です。優秀なスタッフにより先進医療を提供しており充実した研修環境を提供します。初期研修のコースは一つですが、希望によりアレンジ可能です。やる気のある研修医に来ていただきたいと思っています。

病 院 の 概 要

(令和4年4月1日現在)

開設者	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄
病床数	660床（一般628床、精神32床）
診療科目 （常勤医師数）	総合診療科(3)、内分泌・代謝内科(3)、血液内科(4)、神経内科(4)、呼吸器内科(5)、消化器内科(8)、循環器科(5)、感染症内科(2)、腫瘍内科(3)、緩和ケア内科(2)、小児・新生児科(6)、外科(10)、乳腺外科(1)、整形外科(5)、形成外科(3)、脳神経外科(4)、呼吸器外科(3)、小児外科(1)、心臓血管外科(3)、皮膚科(2)、泌尿器科(3)、産婦人科(8)、眼科(3)、耳鼻咽喉科・頭頸部外科(3)、放射線科(6)、麻酔科(8)、救急科(3)、精神科(5)、臨床検査科(4)、腎臓内科(1) 計165人
指導医数	85人
一日平均入院患者数	505.7人（令和3年度）
一日平均外来患者数	991.0人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	4,969人（令和3年度）
アクセス	JR 仙台駅から仙石線に乗りし宮城野原駅下車（乗車時間4分） 東出入口2に隣接



【令和元年5月1日
新病院開院】



【充実した勉強会】

病 院 の 特 徴

特徴

＜基本理念＞
最善の医療を尽くして社会に貢献します
患者さんにやさしく働きがいのある病院を目指します

＜基本方針＞
1. 安全で良質な医療の提供 2. 継続的な質の改善 3. 高度総合医療の提供
4. 地域との医療連携と情報共有 5. 国際レベルの臨床と研究の推進 6. 情操豊かな職員を育む
7. 職場環境の整備 8. 健全な病院運営

指定状況

第三次救急医療機関、臨床研修病院、地域医療支援病院、東北ブロック災害拠点病院、宮城県基幹災害医療センター、地域がん診療連携拠点病院、東北ブロックエイズ拠点病院

主な学会認定

日本内科学会、日本外科学会、日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本小児科学会、日本産婦人科学会、日本精神神経学会、日本医学放射線学会、日本病理学会、日本周産期・新生児学会、日本眼科学会、日本皮膚科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会

女性医師への支援制度

院内保育所有：延長保育可（平日7:30～8:00、18:30～20:00）
土・日・祝日開園（利用者がいるときのみ8:00～18:30）
夜間保育実施（週3回）
病後児保育室有：当院職員であれば利用可（2,000円/回）
事前登録・予約制 ※利用の際、ご相談ください。

研 修 の 概 要

特徴

当院は仙台市の三次救急の中心を担っており、脳神経疾患、心臓疾患、多発外傷など全ての領域に渡る重症疾患が搬送されてきます。救急車搬入数は年間約5,000件におよび、初期研修医は万遍なく全ての救急疾患を経験出来ます。日当直には内科、外科、産婦人科、脳疾患の4ラインの専門医が同時に勤めるため、他科へのコンサルテーションも容易です。
学術活動の水準は特に高く維持されており、研修医が研究会や学会で報告する機会が大変多いことも特徴です。初期研修医期間中に日本語の論文を1つ作成することもカリキュラムの一つとなっています。
平成25年度からフィリピン熱帯医学研究所（マニラ）との相互研修協定に基づいて、日本では経験することのできない感染症や熱帯病の診断治療を学ぶことができるようになりました（応募者多数の時には選抜試験あり）。

教育体制

1. 研修医勉強会：毎週火曜日7:45am 2. CPC：毎月第4火曜日7:45pm 3. 感染症セミナー：毎月第3木曜日
4. サージカル・ラボ 5. シミュレーターによるトレーニング 6. AHAコースのBLSとACLS（必修・参加無料）
7. 各科による多彩かつ豊富なカンファランス、学会参加者病院負担

年間スケジュール（自治生含む）

	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期	8 期	9 期	10 期
1 年次	総診	救急	小児	産婦	外科 2 期		内科自由選択 4 期			
2 年次	総診	精神	地域	麻酔 or 救急	自由選択 6 期					

●協力型病院（科目）
涌谷町国民健康保険病院、登米市立上沼診療所、米沢病院、いわき病院、宮城病院、公立黒川病院、南三陸病院、栗原市立若柳病院、栗原市立栗駒病院

●海外協力施設
フィリピン熱帯医学研究所

研修医数（R4.4.1現在）1年次19人（男性15人、女性4人） 2年次19人（男性13人、女性6人）

研修修了後の進路 当院専修医、当院専攻医、東北大学病院およびその他病院

処 遇

身分	期間職員
給与	月額 1年次:320,960円 2年次:329,000円 (手当等含まない。)
	年額 1年次:約7,096,000円 2年次:約7,116,000円 (超過勤務手当、当直手当、その他手当、賞与等含む。)
当直	平均5回/月
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入無・個人加入任意】
宿 舎	有（月額6,000円）

募 集 要 項

募集定員	19人
応募資格	第117回（令和5年実施）医師国家試験受験予定者
選考方法	小論文、面接
申込期間	希望面接日の1週間前まで
試験日	8月11日（木・祝）、8月16日（火）、8月18日（木）、8月27日（土）、9月1日（木） （5回実施のうち都合のいい日を選択）
病院見学	随時（お気軽に問い合わせ下さい）
連絡先	〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11-12 管理課厚生係（担当：黒沼） 電話：022-293-1111 FAX：022-291-8114 E-mail：113-rinken@mail.hosp.go.jp URL：https://nsmc.hosp.go.jp/

東北医科薬科大学病院

仙台市宮城野区福室

マッチング募集定員 **34** 人



病院長
佐藤 賢一

当院では一般的な疾患から高度な医療を要する稀な疾患まで幅広く症例を経験することができます。200 名を超える指導医には若い医師が多く、教育システムも充実しています。令和 4 年度は 29 人の臨床研修医と 24 人の専攻医が在籍しており、とても学びやすい環境です。当院で私達と一緒に働きませんか、心よりお待ちしております。

病院の概要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

開設者	学校法人東北医科薬科大学 理事長 高柳 元明
病床数	600 床（一般 554 床、精神 46 床）
診療科目 （常勤医師数）	循環器内科 (10)、呼吸器内科 (5)、消化器内科 (14)、糖尿病代謝内科 (4)、腎臓内分泌内科 (11)、血液・リウマチ科 (9)、総合診療科 (9)、脳神経内科 (8)、腫瘍内科 (3)、感染症内科 (5)、精神科 (6)、小児科 (5)、肝胆膵外科 (5)、消化器外科 (8)、がん治療支援（緩和）科 (3)、呼吸器外科 (8)、乳腺・内分泌外科 (3)、心臓血管外科 (6)、整形外科 (6)、脳神経外科 (4)、皮膚科 (3)、眼科 (3)、耳鼻咽喉科 (6)、産婦人科 (5)、泌尿器科 (3)、形成外科 (3)、放射線科 (7)、麻酔科 (4)、リハビリテーション科 (3)、救急科 (4)、病理診断科 (3)、その他 (4) 計 180 人
指導医数	155 人
一日平均入院患者数	425 人（令和 3 年度）
一日平均外来患者数	1,026 人（令和 3 年度）
年間救急搬送患者数	3,456 人（令和 3 年度）
アクセス	JR 仙石線 陸前高砂駅から徒歩 7 分



病院の特徴

特徴

平成 28 年 4 月の本学医学部開設に伴い、大学病院としての診療体制の充実、優れた教育体制、ハード面の拡充と、当院はまだまだ成長と変革の過程にあります。仙台市および近隣自治体から広く患者を受け入れています。もともと市中病院であったことから、地域医療への貢献を重視しており、一般的な疾患から高度な専門的治療を要する症例までさまざまなニーズに応えられる体制が整っています。診療科間の垣根が低く、コメディカルも含め良好な連携ができるのも特徴のひとつです。

平成 31 年 4 月に完成した新大学病院棟には、ICU やレディース病棟を含めた新病棟とハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含めた手術室、リニアックなど高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となりました。

令和 2 年 6 月には新しい研修医室も完成しました。

指定状況

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、救急告示病院、災害拠点病院、宮城県難病診療分野別拠点病院（血液系、免疫系）、宮城県難病地域拠点病院、宮城 DMAT 指定病院、仙台市認知症疾患医療センター指定病院、高次脳機能障害支援拠点病院、結核指定医療機関、生活保護法指定医療機関、労災保険指定医療機関など

主な学会認定

日本病院総合診療医学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本呼吸器学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本神経学会、日本リウマチ学会、日本救急医学会、日本麻酔科学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本乳癌学会、日本精神神経学会、日本婦人科腫瘍学会、日本整形外科学会、日本脳卒中学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本皮膚科学会、日本リハビリテーション医学会、日本病理学会など

女性医師への支援制度

保育園完備、育児休業制度、時間短縮勤務制度等あり

研修の概要

特徴

- 当院での研修を主とするプログラム A（標準コース）、救急・内科研修等様々な協力病院での研修を選択することができます。プログラム B（地域たすき掛けコース）、プログラム C（小児産婦人科コース）の 3 つのコースから選ぶことができます。
- 将来の専門にかかわらず医師として必要な基本的診療能力を培うため、地域医療、プライマリケアを重視した実践的な研修で、バリエーション豊かな症例と手技を経験できます。

教育体制

- 研修医のための勉強会が豊富にあります。（オリエンテーション、スキルアップセミナー、症例発表会、CVC トレーニング等）。各診療科のカンファレンス・勉強会にもローテーション問わず参加可能です。
- 学会参加の旅費補助や外部講習会の参加費補助あり（要件あり）。
- Clinical Key、Up To Date、医中誌 Web、Pub Med 等のデータベースや電子ジャーナルの契約多数。隣接する医学部図書館も利用可能です。



年間スケジュール（標準コースの一例）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	自由選択			救急部門			内科					
2 年次	小児	産婦	精神	外科	地域・一般		自由選択					

●協力型病院（科目）

東北医科薬科大学 若林病院、東北大学病院、仙台医療センター、仙台オープン病院、仙台徳洲会病院、JCHO 仙台病院、総合南東北病院、登米市立登米市民病院、石巻市立病院、南三陸病院、公立刈田総合病院、福島県立医科大学付属病院、帯広第一病院、菅間記念病院

●海外協力施設

登米市立米谷病院、登米市立豊里病院、登米市立上沼診療所、塩電市立病院、宮城利府掖済会病院、栗原市立栗駒病院、女川町地域医療センター、涌谷町町民医療福祉センター、岡部医院仙台、仙台往診クリニック

研修医数（R4.4.1 現在）1 年次 14 人（男 13、女 1） 2 年次 15 人（男 14、女 1）

研修修了後の進路 当院や他院での専門研修等

処遇

身分	常勤嘱託
給与	1 年次月額 320,000 円程度 2 年次月額 330,000 円程度（税込・諸手当除く）
賞与	年 2 回（給与規程に基づき支給）
当直	1 年次 月 2～4 回程度 2 年次 月 2～4 回程度
保険	私学共済、雇用保険、労災保険等、医師賠償責任保険（病院加入・個人加入は任意）
宿舎	借上げ宿舎有り（自己負担月額 15,000 円程度）

募集要項

募集定員	34 人
応募資格	第 117 回（令和 5 年実施）医師国家試験受験予定者、医師免許取得者
選考方法	オンライン試験（小論文、面接）
申込期間	令和 4 年 8 月 10 日まで（予定）
試験日	令和 4 年 8 ～ 9 月を予定（詳細は当院ホームページでご確認ください）
病院見学	随時（卒後研修支援センターホームページの病院見学申し込みフォームからお申し込みください）
連絡先	〒 983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室 1-12-1 卒後研修支援センター 電話：022-259-1221 FAX：022-259-1232 E-mail：kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp URL：http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident/

仙台オープン病院

仙台市宮城野区鶴ヶ谷

マッチング募集定員 **6** 人



院長
土屋 誉

当院の症例数の多さと先端医療の環境は医師として出発する皆さんにとって最高の病院の一つであることを確信しております。また、常に自分自身で考え研摩していく研修医には指導医をはじめ多くのスタッフがサポートを惜しみません。皆さんと共に研修・研究が出来る事を楽しみにしております。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	公益財団法人仙台市医療センター 理事長 中川 洋
病床数	一般 330 床（うち救急専用 37 床、健診センター 10 床）
診療科目 （常勤医師数）	消化器内科 (27)、循環内科 (7)、呼吸器内科 (4)、消化器外科・一般外科 (13)、心臓血管外科・呼吸器外科 (2)、麻酔科 (3)、放射線科 (1)、救急科 (2)、健診センター (3)、歯科 (2)、病理診断科 (1)、臨床検査室 (1)、研修医 (10) 計 76 人
指導医数	40 人
一日平均入院患者数	225.8 人（令和3年度）
一日平均外来患者数	265.9 人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	3,526 人（令和3年度）
アクセス	○バス：市営地下鉄「旭ヶ丘駅」から鶴ヶ谷七丁目行き約 15 分「仙台オープン病院前」下車 ○JR：仙台駅からタクシーで約 30 分、東仙台駅からタクシーで約 15 分



病院の特徴

特徴

中核をなす消化器、循環器、呼吸器疾患の内科系、外科系の常勤医による紹介患者の特殊外来・検査外来、そして専門医による内視鏡治療やカテーテル治療、年間 1,100 例を超える外科手術件数は全国屈指を誇ります。一方、仙台圏救急医療システムのコントロールタワーとしての救急センターを併設し、虚血性心疾患・心不全・不整脈の診断・治療についても地域の中心的役割を担います。平成 30 年 3 月に緩和ケア病棟を含む新病棟が完成しました。

指定状況

基幹型臨床研修病院、新専門医制度内科専門研修プログラム基幹施設、地域医療支援病院全国第 1 号承認、日本医療機能評価機構認定病院、二次救急指定病院（365 日 24 時間対応）、災害拠点病院

主な学会認定

日本人間ドック学会人間ドック健診施設機構評価認定、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会専門医制度修練施設、日本消化器病学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本消化器がん検診学会認定指導施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本心血管インターベンション学会認定研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本人間ドック学会人間ドック健診専門医研修施設、日本静脈経腸栄養学会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設・日本栄養療法推進協議会認定 NST（栄養サポートチーム）稼働施設、日本病理学会研修登録施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設、日本大腸肛門病学会関連施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 B、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 基幹施設、日本肝臓学会関連施設、日本栄養士会栄養サポートチーム担当者研修認定教育施設、日本脾臓学会指導施設

女性医師への支援制度

院内保育所完備、女性医師専用休憩室有り

研修の概要

特徴

仙台市内における中核的専門病院である仙台オープン病院において、内科・外科・麻酔科・救急科、仙台東脳神経外科病院及び研修協力施設で地域医療を、又仙台市立病院で小児科・産婦人科、青葉病院で精神科を必修科目として研修する。麻酔科研修は外科研修の中で手術患者の麻酔を担当することでも行い、救急部門の研修は 1 ヶ月救急部門に配属され、その後救急当直において救急研修 2 ヶ月分に換算し、東北大学病院での研修も可能。さらに仙台市立病院では神経内科研修を、JCHO 仙台病院では腎臓内科を選択できる。

2 年間にわたってそれぞれ研修する。

年間スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	救急	内科						救急	外科			麻酔科
2 年次	選択研修		救急		地域医療			選択研修				

●協力型病院（科目）

仙台市立病院（小児科・産婦人科・神経内科）、青葉病院（精神科）、仙台東脳神経外科病院、JCHO 仙台病院（腎臓内科）、東北大学病院（救急科）、東北医科薬科大学病院（小児科）

●協力施設

仙台往診クリニック、南光台伊藤クリニック、宮城県対がん協会、茂庭台豊齢ホーム、仙台市泉区保健福祉センター、宮城県赤十字血液センター、岩手県立高田病院、南三陸病院、公立黒川病院、ひかりクリニック

研修医数（R4.4.1 現在）1 年次 6 人（男性 6 人） 2 年次 4 人（男性 2 人）

研修修了後の進路 当院または他院で後期研修

処遇

身分	研修医（常勤）
給与	1 年次 月額（税込）344,300 円（基本給） 2 年次 月額（税込）358,800 円（基本給）
賞与	1 年次 年額（税込）765,000 円 2 年次 年額（税込）1,235,000 円
当直	月約 4 回 当直後職務専念義務免除
保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入】
宿舎	指定一括契約アパート無償貸与（光熱水費・駐車場代は自己負担）
その他	確定拠出年金加入



募集要項

募集定員	6 人
応募資格	第 117 回（2023 年実施）医師国家試験を受験する医師免許取得見込者
選考方法	面接、小論文
申込期間	試験日の 1 週間前まで
試験日	2022 年 7 月～9 月の金曜日（予定）
病院見学	随時
連絡先	〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷 5-22-1 医局秘書室（担当：栗田・大瀧） 電話：022-252-1111（内線 4503・4506） FAX：022-252-9431 E-mail：rinshoukenshu@openhp.or.jp URL：http://www.openhp.or.jp

仙台医療圏

仙台市立病院

仙台市太白区あすと長町

マッチング募集定員 17 人



事業管理者
亀山 元信

当院での研修は、研修すべき項目が多く、楽ではないかも知れませんが、当院での 2 年間の研修を経験することにより、医師としての基礎的涵養、また人間としての幅を広げることができると確信しています。臨床医になるための最初のステップとして何でも吸収したいという意欲のある学生諸君の応募を心からお待ちしております。

病 院 の 概 要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

開 設 者	仙台市長
病 床 数	525 床 (一般 467 床、精神 50 床、感染症 8 床)
診 療 科 目 (常 勤 医 師 数)	内科 (1)、呼吸器内科 (5)、消化器内科 (8)、循環器内科 (10)、腎臓内科(3)、脳神経内科 (3)、血液内科(5)、糖尿病・代謝内科(3)、感染症内科 (1)、外科 (13)、心臓血管外科 (3)、脳神経外科 (3)、整形外科 (6)、形成外科 (2)、精神科 (7)、小児科 (8)、皮膚科 (2)、泌尿器科 (4)、産婦人科 (11)、眼科 (3)、耳鼻いんこう科 (4)、放射線科 (3)、病理診断科 (2)、救急科 (6)、歯科口腔外科 (2)、麻酔科 (10) 計 128 人
指 導 医 数	78 人
一日平均入院患者数	358 人 (令和 3 年度)
一日平均外来患者数	855 人 (令和 3 年度)
年間救急搬送患者数	6,689 人 (令和 3 年度)
ア ク セ ス	仙台市営地下鉄長町一丁目駅から徒歩 3 分



病 院 の 特 徴

特徴
当院は、「開かれた病院」、「患者さん中心の医療」、「意欲的な病院」を基本理念とする 100 万都市仙台の中核病院です。昭和 5 年 2 月に開院して以来、90 余年にわたり仙台市民の健康と福祉の向上に貢献してきました。市民の皆様信頼される利用しやすい地域の基幹病院として、また安全・安心な市民生活に欠くことのできない政策的医療の中心的な担い手として、市民の健康と生命を守る役割を果たしています。

当院の重点施策として救急医療、高度医療、臨床研修の充実を掲げています。特に臨床研修病院としては、救急医療を通して「鑑別診断能力」、「救命を含めた初期対応能力」、「プライマリ・ケア能力」を獲得することを目指しており、県内トップクラスの救急車受入れ実績を背景に、各診療科において研修医に対する指導に懸命に取り組んでいます。

さらに、平成 26 年 11 月 1 日にあすと長町地区に移転し、新病院では、新たな政策的医療として NICU の設置や身体合併症精神科救急医療の提供とともに、救命救急医療や災害時医療、感染症対策の更なる充実を図っています。また、病院本館に加え、敷地内に院内保育所やレストラン・研修医実習室等が入る厚生棟と、研修医宿舎棟を建設するなど、快適な環境整備とアメニティの向上に努めています。

- 指定状況

第三次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院
- 主な学会認定

各学会認定臨床研修施設、各学会認定専門医研修施設
- 女性医師への支援制度

院内保育所設置 (365 日開所、週 2 回夜間保育実施)



研 修 の 概 要



CVC ハンズオンセミナー



UNM Simulation



臨床研究発表

年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科系診療科 *						麻酔科		外科		小児科	
2 年次	内科系 *	救急 *		地域医療	産婦人科	精神科	自由選択					

内科系診療科 * : 上記研修期間のうち、一般外来を 4 週分行う。
救急 * : 上記に加え、休日直業務を月 1 回、2 年間で約 20 日間を救急 4 週分とする。

●協力型病院 (研修分野) 宮城県立精神医療センター (精神科)、国見台病院 (精神科)

●協力施設
岡部医院、羽二生クリニック、光ヶ丘スペルマン病院、宏人会木町病院、宏人会中央クリニック、JR 仙台病院、原田乳腺クリニック、塩電市立病院、イムス明理会仙台総合病院、公立黒川病院、土橋内科医院、仙台往診クリニック、宮城県対がん協会がん検診センター、仙台市若林区保健福祉センター、宮城県赤十字血液センター、M&T 在宅クリニック

研修医数 (R4.4.1 現在) 1 年次 17 人 (男性 14 人、女性 3 人) 2 年次 17 人 (男性 11 人、女性 6 人)

研修修了後の進路 当院専攻医、東北大学病院、岩手医科大学附属病院、千船病院等

処 遇

身 分	会計年度任用職員
給 与	月額概算 (諸手当・税込) 1 年次 506,000 円 2 年次 633,000 円
賞 与	夜間救急業務手当、救急手当、医学研究手当、時間外手当等
当 直	1 年次 月 4 ~ 6 回 2 年次 月 4 ~ 6 回 ※大型連休、年末年始等の際は増枠あり
保 険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿 舎	有 (敷地に隣接している研修医宿舎棟。単身者用 40 室)
そ の 他	1 人 1 台 PC 貸与、UpToDate、New England Journal 等閲覧可能、 院外 BLS、ACLS、PTLS、JATEC、PALS 等受講料補助制度あり、年 1 回の学会への参加費用支給あり

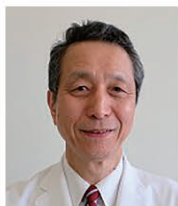
募 集 要 項

募集定員	17 人
応募資格	第 117 回 (令和 5 年実施) 医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチング参加者
選考方法	面接
申込期間	令和 4 年 7 月 1 日 ~ 8 月 23 日まで (予定)
試験日	令和 4 年 7 月 23 日 (土)、8 月 21 日 (日)、9 月 10 日 (土) (予定) ※検討中
病院見学	随時 (病院 HP より申込みできます。)
連絡先	〒 982-8502 宮城県仙台市太白区あすと長町 1-1-1 総務課人事研修係 (担当: 菊地、熊谷) 電話: 022-308-7111 (内線) 2116 FAX: 022-308-7153 E-mail: shokuin@hospital.city.sendai.jp URL: https://hospital.city.sendai.jp

仙台赤十字病院

仙台市太白区八木山本町

マッチング募集定員 **6** 人



院長
舟山 裕士

当院臨床研修プログラムの特徴は、研修医の希望に沿ったスケジュールを組めることや、マンツーマン方式の指導体制で臨床研修の基本がしっかりと身につくこと、秋田、沖縄、北海道などの協力病院で、救急医療、地域医療、精神医療を学べることです。次世代の有能な医師を育てることは当院の重要な使命です。熱意ある皆さんの研修を心よりお待ちしております。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	日本赤十字社 社長 大塚 義治
病床数	一般 389 床
診療科目 (常勤医師数)	腎臓内科(3) 血液内科(1) 呼吸器内科(4) 消化器内科(5) 循環器内科(3) 総合内科(0) 糖尿病代謝科(0) 外科(6) 整形外科(8) 歯科口腔外科(1) 産婦人科(11) 小児科(7) 小児外科(2) 泌尿器科(4) 皮膚科(2) 耳鼻咽喉科(3) 眼科(1) 放射線科(1) 麻酔科(4) 総合周産期母子医療センター(NICU)(6) 病理診断科(1) 精神科(1) 計 74 人
指導医数	48 人
一日平均入院患者数	232 人 (令和3年度)
一日平均外来患者数	547 人 (令和3年度)
年間救急搬送患者数	1,995 人 (令和3年度)
アクセス	仙台駅→(地下鉄東西線)→八木山動物公園駅→(バス)→日赤病院前



病院の特徴

特徴

小児は一般診療を行う小児科とハイリスクな新生児の治療を行うNICU(新生児科)に分かれており、県から指定を受けている総合周産期母子医療センターでは、産婦人科医と新生児科の医師が協力して周産期の医療を行っています。麻酔科医が4名と充実しており、整形外科は股関節と膝関節、外科は主に消化器疾患の手術、小児外科も特殊性のある手術を積極的に施行しております。内科は各分野の専門医・指導医・専攻医が熱心に研修医を指導し、論文・学会発表にも力を入れております。

指定状況

第二次救急医療機関、臨床研修病院、災害拠点病院

主な学会認定

日本消化器病学会、日本人間ドック学会、日本整形外科学会、日本外科学会、日本眼科学会、日本小児科学会、日本泌尿器科学会、日本周産期・新生児医学会、日本産科婦人科学会、日本消化器外科学会、日本消化器外科学会、日本呼吸器学会、日本消化器内視鏡学会、日本臨床細胞学会、日本 IVR 学会、日本放射線学会、日本循環器学会、日本小児外科学会、日本皮膚科学会、日本静脈経腸栄養学会、日本内科学会、日本大腸肛門病学会、日本麻酔科学会

女性医師への支援制度

院内保育所完備(24時間対応可)

研修の概要

特徴

最初の2ヶ月は内科系小児科からスタートし、オリエンテーションを含めた研修を行います。その後、各診療科で研修した後、2年次には自由選択期間を活用して将来を見据えた研修を行うことが可能です。

院外研修は希望すれば最大6ヶ月まで可能で、様々な地域の医療を研修することが出来ます。

2年の間にホスト科以外へ転向した場合も選択期間を有効に利用することが出来ます。プライマリーケアに対応するために、プログラムは経験目標に定められた必要項目を2年間で確実に達成できるような内容となっています。

医局のすぐ近くに研修医室があるため、専攻医や指導医に相談しやすい環境が整っています。



年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科						外科	小児科	産婦人科	麻酔科	選択	
2 年次	地域医療	救急	精神科	選択								



●協力型病院(科目)

秋田赤十字病院(救急)、仙台医療センター(救急)、仙台市立病院(救急)、石巻赤十字病院(救急)、清水赤十字病院(地域医療)、宮城県立精神医療センター(精神科)、東北大学病院(循環器内科、腎・高血圧・内分泌、神経内科、心臓血管外科、放射線治療科、救急部)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(救急<選択>)

●海外協力施設

大波医院(地域医療)、くまがいクリニック内科・消化器科(地域医療)、森元クリニック内科胃腸科(地域医療)、仙台市太白区保健福祉センター(地域保健)、宮城県赤十字血液センター(地域保健)

■研修医数(R4.4.1現在) 1年次 5人、2年次 4人(男性8人、女性1人)

■研修修了後の進路 当院、東北大学病院、仙台医療センター等

処遇

身分	常勤嘱託職員
給与	1年次 月額(税込) 約390,000円 2年次 月額(税込) 約410,000円(令和3年度実績)
賞与	1年次 年額(税込) 約600,000円 2年次 年額(税込) 約870,000円(令和3年度実績)
当直	月5回(日直含む)
保険	社会保険・健康保険・厚生年金・労働保険。医師賠償責任保険は病院自体の加入は有。個人は任意。
宿舎	無(住宅手当月額22,000円まで支給)

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第117回(令和5年実施)医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、小論文、面接
申込期間	令和4年8月下旬〆切
試験日	応募者と相談の上随時決定する。
病院見学	随時
連絡先	〒982-8501 宮城県仙台市太白区八木山本町2-43-3 教育研修推進室(担当:佐藤) 電話:022-243-1111 FAX:022-243-1101 E-mail:kyoikukenshu@sendai.jrc.or.jp URL:http://www.sendai.jrc.or.jp

仙台医療圏

仙台徳洲会病院

仙台市泉区高玉

マッチング募集定員5人

院長
佐野 憲



病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	医療法人徳洲会 理事長 安富祖 久明
病床数	一般315床
診療科目 (常勤医師数)	内科(7)、消化器内科(1)、循環器内科(3)、糖尿病・代謝内科(2)、神経内科(1)、外科(7)、整形外科(3)、放射線科(1)、脳神経外科(2)、産婦人科(0)、泌尿器科(1)、小児科(1)、歯科口腔外科(4)、皮膚科(1)、麻酔科(4)、眼科(1) 計39人
指導医数	20人
一日平均入院患者数	273.8人(令和3年度)
一日平均外来患者数	284.2人(令和3年度)
年間救急搬送患者数	5,847人(令和3年度)
アクセス	仙台駅より地下鉄「泉中央駅」から徒歩10分 東北自動車道「泉スマート」ICから車で5分

病院の特徴

特徴
令和4年4月1日に待望の新築移転を行いました。ERをはじめ最新機器を取り揃え、体制は大きく充実しました。急性期医療が中心で、宮城県内でも有数の救急車受け入れ病院となっています。外科をはじめ整形外科、脳神経外科そして消化器内科の緊急治療体制を整えています。また24時間体制のハートセンターを設置し、急性冠症候群へのインターベンション治療も盛んに行っています。一方で、プライマリ・ケア、地域医療に対しても開業の先生方と連携に力を注いでおり、バランスの取れた医療を行っています。内科系外科系ともに各種学会認定施設を取得しています。

指定状況
第二次救急医療機関、厚生労働省臨床研修指定病院

主な学会認定
厚生労働省 基幹型臨床研修指定病院、日本専門医機構認定内科専門研修基幹施設、日本消化器病学会専門医認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本専門医機構認定総合診療専門研修基幹施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本病理学会研修登録施設

女性医師への支援制度
院内保育所完備



研修の概要

特徴
研修医指導のモットーは、少数精鋭で2年という短い研修期間で多岐に渡る症例を経験し、また多くの手技を修得して頂くことです。よってスーパーローテーション方式を取りながらも柔軟な研修指導体制をとっています。研修医は各科指導医のもとで10～15症例の主治医となり診療に当たります。連日指導医と共に診療に当たる一方で、担当科以外の症例の検査や手術にも積極的に参加して頂く様、各科で連携を図っています。更に重症の救急患者については、指導医の監督下で可能な限り手技・治療を研修医に行って頂いています。
また2年次に僻地離島での地域医療研修が経験できます。各科研修科終了時には症例報告会を行い、優れたものは学会で発表して貰います。日々目まぐるしく過ぎる多忙な病院ですが、高次救急からプライマリ・ケアに至るまで2年間で多くのものを得て頂けると思います。

年間スケジュール													
	1 ～ 4	5 ～ 8	9 ～ 12	13 ～ 16	17 ～ 20	21 ～ 24	25 ～ 28	29 ～ 32	33 ～ 36	37 ～ 40	41 ～ 44	45 ～ 48	49 ～ 52
1 年次	内科			外科			内科			救急部門 / 麻酔科			
2 年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療			自由選択科						

- 協力型病院(科目)
(小児科) 東北労災病院、(産婦人科) 東北大学病院・東北公済病院・羽生総合病院
(精神科) 国見台病院
- 協力施設
(地域医療) 瀬戸内徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、庄内余目病院 他19施設から選択

研修医数(R4.4.1現在) 1年次 2人(男性2人) 2年次 3人(男性2人、女性1人)

研修修了後の進路 当院スタッフ、徳洲会グループ病院、出身大学入局等

処遇

身分	常勤研修医師
給与	1年次 月額300,000円 2年次 月額320,000円(税込、諸手当含まず)
賞与	1年次 年額450,000円 2年次 年額760,000円(税込、諸手当含まず)
当直	1年次 月4～6回 2年次 月5～7回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	病院借り上げマンション(家賃の半額)
その他	院内保育所あり(夜間保育・延長保育・一時預かり・勤務外預かり・日曜保育等あり)

募集要項

募集定員	5人
応募資格	第116回(令和4年実施)医師国家試験受験予定者
選考方法	筆記試験、小論文、面接、但し事前の病院見学を必須とします
申込期間	令和4年9月30日まで
試験日	随時
病院見学	随時
連絡先	〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉9-8 臨床研修センター(担当:山内) 電話:022-771-5111 FAX:022-771-5100 E-mail:yamauchi@tokushukai.jp URL:http://www.tokushukai.or.jp/sendai/

仙台医療圏

坂総合病院

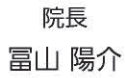
塩釜市錦町

マッチング募集定員 13人

A head-and-shoulders portrait of a middle-aged man with short, light-colored hair, smiling. He is wearing a white lab coat over a dark shirt. The background is a plain, light blue-grey color.

院長
富山 陽介

私たちが目指しているのは地域に根ざした community-based medicine ともいべき新しい医療のあり方です。医師を含めた医療チームが連携と共同のスタンスで行うものです。2021 年度から総合診療・地域医療重点プログラムも追加しました。地域医療の最前線こそ最も良い医師養成の現場です。地域医療に熱意を持つ研修医を広く求めます。



(令和4年4月1日現在)

開設者	公益財団法人 宮城厚生協会 理事長 内藤 孝
病床数	一般 357 床
診療科目 (常勤医師数)	循環器科 (6)、呼吸器科 (9)、消化器科 (4)、糖尿病代謝科 (6)、 予防検診科 (1)、総合診療科 (2)、緩和ケア科 (1)、外科 (8)、麻 酔科 (3)、小児科 (5)、産婦人科 (6)、救急科 (3)、リハビリテーシ ョン科 (4)、在宅診療科 (2)、整形外科 (1)、形成外科 (1)、放射線科 (1)、 漢方科 (1)、病理部 (1)、遺伝子診療科 (0) 計 65 人
指導医数	36 人
一日平均入院患者数	280.8 人 (令和 3 年度)
一日平均外来患者数	635.4 人 (令和 3 年度)
年間救急搬送患者数	3429 人 (令和 3 年度)
アクセス	仙台駅より JR 仙石線にて 25 分 下馬駅下車 徒歩 1 分

■特徴

当院のローテート研修は45年以上に及び歴史があり、これまでに約300名の研修医を受け入れ、指導医の多くはその研修で育っています。初期研修修了後、当院での専門研修に進む専攻医たちが後輩指導にあたり、屋根瓦方式の研修を行っています。

第二次救急医療機関、基幹型臨床研修指定病院、災害拠点病院、地域医療支援病院

救急告示病院、NPO法人卒後臨床研修評価機構認定病院、日本情報処理開発協会プライバシーマーク認定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設、日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医補充研修施設、宮城県医師会母体保護法設備指定医療施設、宮城県医師会母体保護法指定医師研修機関、日本麻酔学会麻酔指導病院認定施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本静脈経腸栄養学会認定N S T 稼動施設、日本栄養療法推進協議会認定N S T 稼動施設、栄養サポート専門療法士認定教育施設、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設、日本感染症学会認定教育施設、日本環境感染症学会教育施設認定、日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本東洋医学会研修施設、日本病理学会病理専門医研修認定施設、マンモグラフィ検診施設、東北大学病院地域医療連携施設

院内保育所(1歳年度末まで)、育児短時間勤務制度(3歳未満)、育児時間(1歳未満1日1時間保障)、短時間勤務制度

■プログラムの特徴

新専門医制度においては内科・総合診療科の基幹型プログラムの他、大学病院などの連携施設として、外科・産婦人科・小児科・リハビリテーション科などの専門研修を行なうことが可能です。更に、専門研修プログラムに進む前に幅広い経験を積む「Transitional Year 研修」、小規模病院での「地域プライマリ・ケア研修」や複数志望科での重点研修など、研修医の希望に合わせオーダーメイドで行なう3年目研修も整備しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	循環器			呼吸器			外科			救急	
2年次	消化器			地域医療			小児		産婦	精神	選択	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	救急			内科（総合診療）				地域医療	外科		産婦
2年次	地域医療	内科（総合診療）			小児	精神	救急		地域医療			

泉病院、長町病院、古川民主病院、至誠堂総合病院、鶴岡協立病院（内科、地域医療）、緑ヶ丘病院、宮城県立精神医療センター、藤代健生病院（精神科）、東北大学病院、桑野協立病院（整形外科）、川久保病院（地域医療）

坂総合クリニック、坂総合病院附属北部診療所、松島海岸診療所、しばた協同クリニック、本間病院、さわやかクリニック

研修修了後の進路 当院で専門研修、各大学、各病院

身 分	正職員
給 与	1 年次 月額 370,700 円 2 年次 月額 390,700 円 * 税込・諸手当除く
賞 与	1 年次 年額 690,000 円 2 年次 年額 720,000 円 * 税込・
当 直	1 年次 月 2~3 回 2 年次 月 2~3 回 深夜当直 1 回 平日 17,000 円、土日祝 24,000 円
保 険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院・個人加入あり】
宿 舎	無（但し住宅手当月額 30,000 円補助あり）
そ の 他	保育施設あり リフレッシュ休暇 7 日間 / 年

募集定員	13人(基礎研修プログラム11名、総合診療・地域医療重点プログラム2名)
応募資格	第117回(令和4年実施)医師国家試験受験予定者、及び医師国家試験合格者で研修未修了者
選考方法	実習・面接・小論文
申込期間	令和4年9月末日まで
試験日	随時 ※相談の上対応いたします。
病院見学	随時対応いたしますのでお気軽にご連絡ください。
連絡先	〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 医師研修担当事務:北山 電話:022-361-7033 FAX:022-366-6555 E-mail:kensyu@zmkk.org URL: https://www.m-kousei.com/saka/

大崎市民病院

大崎市古川穂波

マッチング募集定員 19人

院長
並木 健二

院長から皆さんへ
大崎市民病院は厚労省 DPC 特定機能群（大学病院本院に準じた機能を持つ病院）に指定され、加えて日本医療機能評価機構の認定も受けている病院です。

【恵まれた環境】

- ・優しく実力ある豊富な指導医
- ・高度で高性能な医療機器
- ・近代医療に対応する建屋
- ・多種多彩で豊富な症例
- ・多くの同級生と同門の医師
- ・静かで仙台にも近い生活環境
- ・四季折々の美味しい食生活を満喫
- ・優しく暖かい地域の人たち

自分の努力次第でいくらかでも知識や手技を吸収できます。このような環境で己を磨いてみませんか？

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	大崎市長 伊藤康志
病床数	500床（一般494床（うち救急30床）・感染症6床）
診療科目 （常勤医師数）	呼吸器内科（6）、腎臓内分泌内科（5）、糖尿病代謝内科（6）、リウマチ科（3）、脳神経内科（5）、血液内科（4）、腫瘍内科（6）、消化器内科（9）、胆膵内科（1）、循環器内科（8）、小児科（9）、皮膚科（2）、精神科（1）、リハビリテーション科（2）、外科（16）、心臓血管外科（3）、脳神経外科（4）、呼吸器外科（3）、泌尿器科（5）、整形外科（9）、産科・婦人科（9）、耳鼻咽喉科（4）、眼科（3）、麻酔科（8）、形成外科（2）、歯科口腔外科（3）、放射線診断科（4）、放射線治療科（2）、臨床検査科（1）、病理診断科（2）、救急診療科（5）、総合診療（1） 計151人
指導医数	64人
一日平均入院患者数	399人（令和3年度）
一日平均外来患者数	1,073人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	5,338人（令和3年度）
アクセス	JR古川駅（JR仙台駅より新幹線下り線各駅停車で次の停車駅）所要時間約15分）、ミヤコーバス（色麻線にて大崎市民病院下車、所要時間約15分）シャトルバス（駅南経由・七日町経由にて大崎市民病院下車、所要時間約10～15分）



病院の特徴

特徴

当院は地域における基幹的综合病院であり、診療科は多岐にわたり扱う疾患の偏りがなく、いずれの科も高度専門治療を要する多様な疾患まで対応しています。また、3次救命救急センターを擁する急性期病院として、他の病院と連携しながら宮城県北の医療を中心的に担っています。最新の設備もさることながら、様々な指定や施設認定を取得しており、臨床研修では十分に経験を積むことができます。豊富な症例に接する中で、様々な疾患や手技等に接する機会が多く、その経験が医師としての基礎と成り得ます。現在、初期研修医（1～2年目）は39名、専攻医（3年目以降）も43名在籍しており、臨床研修は指導医のもと、先輩研修医と共同で診療に当たるシステム、いわゆる屋根瓦方式を採用していることが、当院での研修をより良いものにして自負しています。



指定状況

救急告示病院（救命救急センター）、災害拠点病院、脳死に係る臓器提供病院、第二種感染症指定医療機関、臨床研修指定病院、第一種助産施設指定、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター

主な学会認定

日本内科学会、日本循環器学会、日本消化器病学会、日本呼吸器学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本産科婦人科学会、日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本麻酔科学会 ほか

女性医師への支援制度

院内保育所、育児休暇制度 ほか

研修の概要

特徴

初期研修で必要な知識・手技を確実に身につけながらプライマリケアを学ぶことを目的に、何より医師を目指す皆さんの大切な2年間を、有意義で充実した研修になることを第一に考えたプログラムです。専門医制度を見すえ、選択期間を長く設定した柔軟なローテーションになっています。



年間スケジュール（2022年度予定）

【臨床研修プログラム】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（26W）						救急（12W）			麻酔科（6W）		外科（6W）
2年目	小児科 （4W）	産科・ 婦人科 （4W）	地域医療 （8W）		精神科 （4W）	選択（32W）						

●協力型病院（科目）

精神科：東北大学病院・国見台病院・古川グリーンヒルズ

●協力施設

地域医療：大崎市民病院岩出山分院、大崎市民病院鹿島台分院、大崎市民病院鳴子温泉分院、大崎市民病院田尻診療所、涌谷町国民健康保険病院

精神科：旭山病院

●研修医数（R4.4.1現在）1年次19人（男性16人、女性3人）2年次20人（男性16人、女性4人）

●研修修了後の進路 当院専門研修、東北大学病院、東北大学大学院 他

処遇

身分	会計年度任用職員
給与	1年次 月額概算 350,000円 2年次 月額概算 395,000円 ※諸手当別途支給
賞与	1年次 年額 497,000円 2年次 年額 1,185,000円
日夜勤（救外）	日勤（8:30～17:15 救急外来勤務） 夜勤（16:45～翌9:15 うち救急外来勤務 17:15～翌8:30） 日夜勤合わせて月4回程度
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院加入あり・個人加入任意）
宿舎	官舎及び指定アパート有（65,000円/月まで病院負担。一部個人負担あり）
その他	UpToDate、Medical*Online、医中誌 Web 閲覧可能、院内保育所「あいあい」（24時間対応）あり

募集要項

募集定員	19人
応募資格	第117回（2023年実施）医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチングに参加する者
選考方法	面接、小論文
申込期間	2022年7月～8月 ※詳細はホームページ参照
試験日	1回目：8月上旬、2回目：8月中旬、3回目：8月下旬、4回目：9月上旬 ※詳細は当院ホームページ参照
病院見学	随時 ※ご都合により調整いたします
連絡先	〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波 3-8-1 アカデミックセンター 臨床教育学術管理室 教育研修係（担当：寺島、佐々木） 電話：0229-23-3311（内線3305、3306） FAX：0229-23-5380 E-mail：kensyu-och@h-osaki.jp URL：https://www.h-osaki.jp/recruit/resident/

栗原市立栗原中央病院

栗原市築館宮野中央

マッチング募集定員 6 人

院長
中鉢 誠司

当院は栗原市の基幹病院として、急性期・回復期・慢性期および結核医療を行っています。急性期医療に関しては救急車受け入れ数および新規入院患者数は年々増加しており、少ない医師数ながら皆やる気十分で頑張っており、多くの事を研修できると同時に即戦力として活躍できます。また県内唯一の結核病棟が開設となり、結核医療に関しても学べると思います。初期研修終了後の専門医取得のために多くの基幹施設の連携病院となっており、専攻医の先生には週1回の研修日を設けています。地域医療に関心を持っている方は是非当院で研修してみませんか？

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	栗原市長 佐藤 智
病床数	313床 (一般269床、療養15床、結核28床、感染1床)
診療科目 (常勤医師数)	内科(15)、循環器内科(4)、脳神経内科(0)、外科(6)、整形外科(3)、産婦人科(0)、眼科(1)、耳鼻咽喉科(0)、小児科(2)、皮膚科(1)、麻酔科(1)、精神科(0)、泌尿器科(0)、放射線科(2)、リハビリテーション科(0)、病理診断科(0) 計35人
指導医数	29人
一日平均入院患者数	188.8人 (令和3年度)
一日平均外来患者数	446.1人 (令和3年度)
年間救急搬送患者数	2,366人 (令和3年度)
アクセス	東北新幹線 くりこま高原駅から車で9分 東北自動車道 築館ICから車で10分

病院の特徴

特徴

常勤医師は35名ですが、東北大学病院等より多数の専門医による診療支援を頂いております。栗原市内の各医療機関等との病病連携・病診連携を図り、地域の拠点病院として機能を発揮しています。

高度な医療機器を備え、充実した病院設備を生かすとともに入院診療を基本とし、一般的な診療はもちろん専門医による診療、専門外来を設置しております。リハビリテーション施設を拡充し、高齢者社会に対応するための医療も行っております。



指定状況

救急指定病院、災害拠点病院、保険医療機関、労災保険指定医療機関、生活保護指定医療機関、自立支援医療機関（更生医療）、自立支援医療機関（精神通院医療）、生活習慣病予防検診指定医療機関、宮城DMAT指定病院指定、第二種感染症指定医療機関

主な学会認定

基幹型臨床研修病院、協力型臨床研修病院（東北大学病院）、日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本肝臓学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本超音波医学会超音波専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本病理学会研修登録施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、マンモグラフィ検診施設画像認定、日本病院総合診療医学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設

女性医師への支援制度

院内保育所完備(月～土曜日7:30～18:30 ※一時保育・延長保育・休日及び終夜保育あり) その他、産前休暇(産前6週間)、産後休暇(産後8週間)、特別休暇の保育時間、子どもの看護休暇などの取得が可能

研修の概要

特徴

当院は、プライマリ・ケアから二次救急まで一般臨床医学を学べる病院としてふさわしい環境を整備しました。

内科分野においては、専門診療科も標榜しており、各専門の指導医師が揃っている中で、ローテートしながら内科を研修します。消化器内視鏡検査の基本技術取得と肝臓病・糖尿病・循環器・呼吸器疾患などの臨床知識の習得が可能です。また、外科分野においては、外科疾患の病態を理解し、術前術後の管理及び助手又は術者としての手術手技の基本研修などが可能です。必修科目の内科、外科は当院で行い、小児科は協力病院で幅広い症例に対応します。地域医療は訪問診療と一般外来診療を組み合わせることで選択することが可能です。自由選択期間にはあり、必修科目での不足を補うとともに、研修医のニーズに合わせた科目の選択とします。

どの分野も研修医の自主性と積極性を重視しながら、指導医が懇切丁寧な指導をいたします。少人数での研修から豊富な症例経験が可能で、特に循環器・消化器疾患を中心とした診断治療は充実した研修ができます。また、臨床研修医のための部屋は、ゆったり寛げる空間で学習と休息ができるようになっております。



年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科					小児科	外科	自由選択		救急	自由選択	
2 年次	自由選択		産婦人科	精神科	自由選択		地域医療	自由選択				

●協力型病院(科目)

国立病院機構仙台医療センター(救急)、東北公済病院(産婦人科)、岩手県立磐井病院(産婦人科)、国見台病院(精神科)、岩手県立南光病院(精神科)、国立病院機構岩手病院(地域医療)、大崎市民病院(産婦人科・小児科・麻酔科)、東北大学病院(全診療科)

●協力施設

若柳病院(地域医療)、栗駒病院(地域医療)、令和クリニック(地域医療)、大崎保健所栗原支所(地域保健)、やまと在宅診療所栗原(地域医療)

研修医数(R4.4.1現在) 1年次4人(男性4人、女性0人) 2年次6人(男性5人、女性1人)

処遇

身分	会計年度任用職員
給与	1年次 年額(税込) 約620万円 2年次 年額(税込) 約750万円 ※年額は賞与含む。また時間外勤務手当、宿日直手当等の実績支給額は含まない。
賞与	年2回(6月・12月支給)
当直	月4回程度 当直手当1年次19,000円/回(ただし半副直は4,800円/回) 2年次30,000円/回
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険(採用後6か月以降は退職手当組合に移行) 医師賠償責任保険【病院加入あり・個人加入任意】
宿舎	有(病院近隣アパート借上げ、一部負担有り)
その他	院内保育所(24時間or7:30～18:30)あり、休日・夜間保育、延長保育、一時預かり有り

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第117回(令和5年実施)医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、面接、小論文
申込期間	令和4年7月1日から令和4年8月31日まで
試験日	令和4年8月1日～令和4年9月7日までのうち平日の4日程度(詳細は当院HPをご参照ください)
病院見学	随時(当院HP臨床研修医募集ページよりお申込みください)
連絡先	〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1 栗原市立栗原中央病院 事務局総務課(内線2219) TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350 e-mail: k-kenshu@kam.or.jp URL: http://www.kurihara-central-hp.jp/

石巻・登米・気仙沼医療圏

石巻赤十字病院

石巻市蛇田字西道下

マッチング募集定員 14 人



院長
石橋 悟

より良い研修環境を求め、歴代の初期臨床研修医とともに現在の体制を構築してまいりました。医療の将来を担う皆さんには是非、地域医療の最前線である当院で、医師としての第一歩を踏み出してほしいと思います。そして、共に未来に向かって進んでいければうれしいです。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	日本赤十字社 社長 近衛忠輝
病床数	464 床 (一般 460 床、感染症 4 床)
診療科目 (常勤医師数)	内科 (10)、脳神経内科 (4)、精神科 (1)、呼吸器内科 (9)、消化器内科 (6)、循環器内科 (7)、腫瘍内科 (1)、感染症内科 (1)、外科 (13)、乳腺外科 (3)、脳神経外科 (3)、呼吸器外科 (5)、整形外科 (4)、リハビリテーション科 (1)、形成外科 (2)、小児外科 (1)、産婦人科 (6)、小児科 (6)、耳鼻咽喉科 (2)、眼科 (2)、皮膚科 (2)、泌尿器科 (4)、麻酔科 (7)、緩和医療科 (1)、放射線診断科 (3)、放射線治療科 (2)、救急科 (6)、集中治療部 (1)、検査部 (1)、慢性疼痛内科 (1)、歯科 (1)、歯科口腔外科 (2) その他 (1)
指導医数	56 人
一日平均入院患者数	392.1 人 (令和3年度)
一日平均外来患者数	1,013.5 人 (令和3年度)
年間救急搬送患者数	5,632 人 (令和3年度)
アクセス	JR 仙石東北ライン 蛇田駅より タクシーで 10 分 宮城交通イオン石巻バス停より タクシーで 8 分



病院の特徴

特徴

石巻・登米・気仙沼医療圏の地域医療において中核的役割を果たしており、院内に地域医療連携室を設置し、地域の病院・診療所との連携も密にしています。

救命救急センターでは、1次から3次までのあらゆる症例に幅広く対応し、救急車は医療圏の半数以上を受け入れています。三陸自動車道の石巻女川インターチェンジに隣接し、また、海上保安庁や航空自衛隊と連携した洋上救急に積極的に参加するなど、医療圏の救急医療を一手に担っています。

病院全体が研修医の教育にも熱心で、コメディカルからのバックアップもあり、様々な勉強会を開催しています。

指定状況

保健医療機関、労災保険指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核指定医療機関、原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関、救急告示病院、宮城県地域災害医療センター、第二種感染症指定医療機関、へき地医療拠点病院、臨床研修病院、宮城県地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院 (高度型)、地域医療支援病院、救命救急センター (24 床)、日本医療機能評価機構認定病院、母体保護法指定病院、原子力災害拠点病院、遺伝性乳癌卵巣癌総合診療連携施設、特定行為研修指定医療機関の指定、ISO15189:2012 (英和対訳版) の認定 (検査)、ISP15189:2012 (英和対訳版) の認定 (病理)

主な学会認定 ※新専門医制度：内科基幹病院、外科基幹病院

日本内科学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本腎臓学会、日本血液学会、日本骨髄バンク、日本老年医学会、日本東洋医学会、日本臨床腫瘍学会、日本がん治療認定医機構、日本透析医学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化管学会、日本外科学会、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、呼吸器外科学会、日本乳癌学会、日本消化器外科学会、日本オゾンプラスチックサーiggary学会、日本整形外科学会、日本形成外科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本皮膚科学会、日本泌尿器科学会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本麻酔科学会、日本医学放射線学会、日本病理学会、日本救急医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本静脈経腸栄養学会、日本医療薬学会、日本不整脈心電学会、日本口腔外科学会

女性医師への支援制度

当院職員専用の保育所を完備 (病児・病後児保育可)

研修の概要

特徴

1 年次には、内科、外科、救急、小児科必修とし、内科系・外科系に傾向することなくプライマリケアの基礎固めを行います。なお、1 年次から自由選択枠を設けています。

1 年次後半から 2 年次に産婦人科研修、2 年次に麻酔科、地域医療、精神科研修を必修としています。その他は自由選択枠とし、研修医が将来志望する診療科の研修にあてることができます。

また、2 年間通年で一般外来研修を必修としています。



石巻赤十字病院初期臨床研修プログラム (例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科						救急		外科		小児	自由選択
2 年次	内科	産婦人科	地域医療	精神	麻酔	自由選択						

●協力型病院 (科目)

福島赤十字病院 (精神科)、成田赤十字病院 (精神科)、足利赤十字病院 (精神科)、東北大学病院 (放射線診断科・放射線治療科、心臓血管外科)、東北医科薬科大学病院 (心臓血管外科)、浦添総合病院 (救急科)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (救急科)

●協力施設

石巻市立病院、女川地域医療センター、気仙沼市立本吉病院、登米市立豊里病院、南三陸病院、涌谷町国民健康保険病院

研修医数 (R4.4.1 現在) 1 年次 14 人 (男性 11 人、女性 3 人) 2 年次 14 人 (男性 8 人、女性 6 人)

研修終了後の進路 当院の他 東北大学病院、名古屋第一赤十字病院、墨東病院、東京医科歯科大学病院 等

処遇

身分	嘱託職員
給与	1 年次 月額 (税込) 360,000 円 2 年次 月額 (税込) 400,000 円
賞与	年 2 回
当直	月 7-8 回 (準夜・深夜含む)
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険【病院で加入・個人加入は任意】
宿舎	住宅補助あり

募集要項

募集定員	初期臨床研修プログラム (14 名)
応募資格	第 117 回 (令和 4 年度実施) 医師国家試験受験予定者でマッチング参加者
選考方法	面接
申込期間	令和 4 年 6 月 1 日 (水) ~ 8 月 5 日 (金) まで
試験日	令和 4 年 8 月 22 日 (月) ~ 8 月 25 日 (金) のうち 1 日
病院見学	随時 (旅費補助有) 病院 HP 研修医採用ページより申込みできます。
連絡先	〒 986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下 71 番地 教育研修センター (担当: 石沢) 電話: 0225-24-6812 FAX: 0225-96-0122 E-mail: resident@ishinomaki.jrc.or.jp URL: http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/

石巻・登米・気仙沼医療圏

登米市民病院

登米市迫町

マッチング募集定員3人



院長
松本 宏

宮城県北に位置する地域医療の中核病院です。2022年4月から初期研修医の受入れを開始しました。当院の研修では地域の特性を十分に取り入れ、患者さんと深く関わって研修していくことができます。研修後の一般診療にも必ず役立てていただけると信じておりますので是非当院に研修にいらしてください。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	登米市長 熊谷 盛廣
病床数	198床（一般病棟168床、回復期リハビリ病棟30床）
診療科目（常勤医師数）	内科(8)、外科(4)、整形外科(3)、皮膚科(1)、小児科(1)、泌尿器科(1)、リハビリテーション科(1)、透析内科(1)計20人
指導医数	7人
一日平均入院患者数	154人（令和3年度）
一日平均外来患者数	375人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	1,686人（令和3年度）
アクセス	東北自動車道 築館ICより車で約40分 三陸自動車道 登米ICより車で約20分 JR東北本線 瀬峰駅よりタクシー又はバスにて約30分 新田駅よりタクシーで約20分 高速バス 仙台駅前（旧さくら野前）のりばより登米市役所前約1時間35分 登米市役所前より徒歩にて約10分

病院の特徴

特徴

地域医療の中核病院として、地域の皆さんがこの地域で安心して生活できるように急性期医療を提供しています。当院のほかに、2病院、診療所、訪問看護ステーション、老人保健施設も市立で運営しており、急性期から回復期、慢性期、在宅医療、介護まで地域密着の医療を展開しています。

また東北大学地域総合診療医育成寄附講座と東北医科薬科大学登米地域医療教育サテライトセンターを開設し、総合診療医の育成にも力を入れています。



指定状況

労災指定病院、生活保護法指定病院、指定自立支援病院、結核予防法指定病院、原爆医療指定病院、救急告示病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院、肝疾患に関する専門医療機関、宮城DMAT指定病院

主な学会認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診認定施設、日本病院総合診療医学会認定施設

女性医師への支援制度

院内保育所「とめっこ保育園」完備（365日7:00～19:00、生後8週を経過～小学校就学前まで）
産前産後休暇等

研修の概要

特徴

当院の内科、外科、地域医療、一般外来、救急研修では、初期研修医として必要な症例や数多くの検査・処置・手技を経験し、日当直で初期の救急対応を研修します。各科の研修により幅広い日常的な疾患の治療や継続的に患者さんを診るプライマリ・ケアを研修します。さらに、協力型病院・協力施設を含めてジェネラリストとして求められる知識、診療技術をしっかり修得することができます。高齢者の人口割合が増加し、人口の偏在が深刻になると思われる中で、医師として必要な資質や、医療従事者の少ない地域でもきちんと対応できる能力を身に付けることができます。



年間スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科・一般外来 27 週						外科・一般外来 9 週		小児科 8 週		産婦人科 8 週	
2 年次	精神科 8 週		救 急 12 週		自由選択 8 週		地域医療・一般外来 16 週				自由選択 8 週	

- 協力型病院（科目）
- 東北大学病院（小児科、産婦人科、精神科、救急部門、麻酔科）、東北医科薬科大学病院（小児科、産婦人科、精神科、救急部門、麻酔科）、仙台医療センター（産婦人科、精神科、救急部門、麻酔科、臨床検査科）、大崎市民病院（小児科、産婦人科、救急部門、麻酔科）、石巻赤十字病院（産婦人科、救急科、麻酔科）、宮城県立精神医療センター（精神科）、気仙沼市立病院（小児科）
- 協力施設
- 登米市立豊里病院、登米市立米谷病院、登米市立上沼診療所、豊里老人保健施設、登米市訪問看護ステーション、宮城県石巻保健所登米支所、登米市社会福祉協議会

研修医数（R4.4.1現在）1年次0人（男性0人、女性0人）2年次0人（男性0人、女性0人）

処遇

身分	会計年度任用職員（非常勤）
給与	1年次月額564,700円 2年次月額661,300円 ＊月額には賞与含む。通勤手当、時間外勤務手当、日当直手当あり。
賞与	給与月額に含む
当直	月2～4回程度
保険	全国健康保険協管健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償保険（病院加入あり・個人加入任意） ＊2年次より地方公務員共済制度、地方公務員災害補償制度適用）
宿舎	あり（アパート借り上げ制度あり）
その他	学会、研究会等への参加費用支給あり。

募集要項

募集定員	3人
応募資格	第117回（2023年実施）医師国家試験受験予定者または医師国家試験合格者（臨床研修未実施者）で、医師臨床研修マッチングに参加する者
選考方法	面接、小論文
申込期間	令和4年6月1日から
試験日	令和4年8月1日から随時
病院見学	随時 ご都合により調整いたします
連絡先	987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中25番地 登米市立登米市民病院事務局管理課庶務係 TEL：0220-44-4795 FAX：0220-22-0345 E-mail：iryoshimin-kanri@city.tome.miyagi.jp URL：https://www.city.tome.miyagi.jp/iryoutomehp/

石巻・登米・気仙沼医療圏

気仙沼市立病院

気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2

マッチング募集定員6人



院長
横田 憲一

当院は、気仙沼地域唯一の基幹型臨床研修病院です。岩手県南からの患者さんも来院するので、救急患者の多さはもちろんのこと、豊富で多様な症例を体験できますので、指導医のもとで多くの経験を積んで下さい。

病院の概要

(令和4年4月1日現在)

開設者	気仙沼市長 菅原 茂
病床数	340床（一般336床、感染症4床）
診療科目 （常勤医師数）	内科(9)、呼吸器科(2)、循環器科(5)、小児科(3)、外科(9)、整形外科(4)、脳神経外科(2)、皮膚科(3)、泌尿器科(3)、産婦人科(4)、眼科(2)、耳鼻咽喉科(2)、麻酔科(1)、歯科口腔外科(2)、病理診断科(1)、研修医(14) 計66人
指導医数	28人
一日平均入院患者数	239.6人（令和3年度）
一日平均外来患者数	882.9人（令和3年度）
年間救急搬送患者数	7,232人（うち救急車搬送2,297人）（令和3年度）
アクセス	三陸道気仙沼中央ICより車で5分、JR気仙沼駅から車で10分、高速バス（仙台-気仙沼間）



病院の特徴

- 特徴
- 気仙沼市は宮城県の最北端に位置し仙台市から遠いことから、当院は地域の事情から最も地域完結型の医療を求められている病院といえます。
- 気仙沼地域のみならず、岩手県南部からの患者さんも多く、三陸沿岸の基幹病院として地域に根ざした医療の充実と向上に努めています。

- 指定状況
- 救急告示病院、臨床研修病院、災害拠点病院（宮城県地域災害医療センター）、宮城県地域周産母子医療センター、宮城県高次脳機能所障害地域支援拠点病院

- 主な学会認定
- 日本内科学会、日本外科学会、日本循環器科学会、日本脳神経外科学会、日本産婦人科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本整形外科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本眼科学会、日本泌尿器科学会、日本周産期・新生児医学会、日本皮膚科学会、日本病理学会、日本がん治療認定、日本脳卒中学会、日本麻酔科学会、日本消化管学会、日本呼吸器学会、日本心血管インターベンション治療学会

研修の概要

- 特徴
- 1年目にプライマリーケアを行うに必要な基本的診療技術や救急蘇生などを習得し、十分に救急対応が出来る事を目標とします。
- また、1年目の12週は将来専門とする科を12週研修することも可能とし、早期のキャリア形成を積極的に援助します。
- 2年目は将来専門とする科を中心に研修を行い、地域医療研修では、病診連携・在宅医療に重点を置いた研修を行い、その意義を習得します。
- 必修科の精神科は気仙沼市内の協力型病院で十分な指導が受けられるとともに、麻酔科が常勤となったことで手術症例の臨床をより深く理解できます。
- 小児科・産婦人科についても十分な指導体制であり将来の専門とする診療科への動機付けになることが期待されます。



年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内 科						救 急			選択必修科目若しくは将来専門とする診療科を中心とした関連診療科		
2 年次	選択必修科目若しくは将来専門とする診療科を中心とした関連診療科			地域医療	将来専門とする診療科を中心とした関連診療科							

- 協力型病院（科目）
- 三峰病院（精神科）、光ヶ丘保養園（精神科）、仙台医療センター（救急科）
- 協力施設
- 気仙沼市立本吉病院、大友医院、森田医院、釜石ファミリークリニック
- 研修医数（R4.4.1現在）1年次 6人（男性6人） 2年次 6人（男性6人）
- 研修修了後の進路 当院で後期研修、東北大学病院 他

処遇

身分	会計年度任用職員
給与	1年次 月額 350,000 円程度（時間外手当等別途支給 前年度約 268 万） 2年次 月額 370,000 円程度（時間外手当等別途支給 前年度約 430 万） ※関係規程の定めによる
賞与	有り 年2回 1年次 72万円程度 2年次 120万円程度
当直	1年次 月3～4回 2年次 月3～4回
保険	1年目：協会けんぽ、厚生年金、労働者災害補償保険 2年目：市町村職員共済組合 1年目・2年目：退職手当組合加入、医師賠償責任保険【病院加入】
宿舎	あり（アパート借り上げ制度あり）
その他	健康診断（年2回）、希望によりインフルエンザ及びHBワクチン接種

募集要項

募集定員	6人
応募資格	第117回（2023年実施）医師国家試験受験予定者
選考方法	書類審査、面接
申込期間	令和4年8月31日まで
試験日	ホームページ掲載
病院見学	随時
連絡先	〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2 総務課（担当：畠山） 電話：0226-22-7100（内線5204） FAX：0226-22-3121 E-mail：hs-somu@kesennuma.miyagi.jp URL：http://www.kesennuma-hospital.jp

宮城県医師育成機構の概要

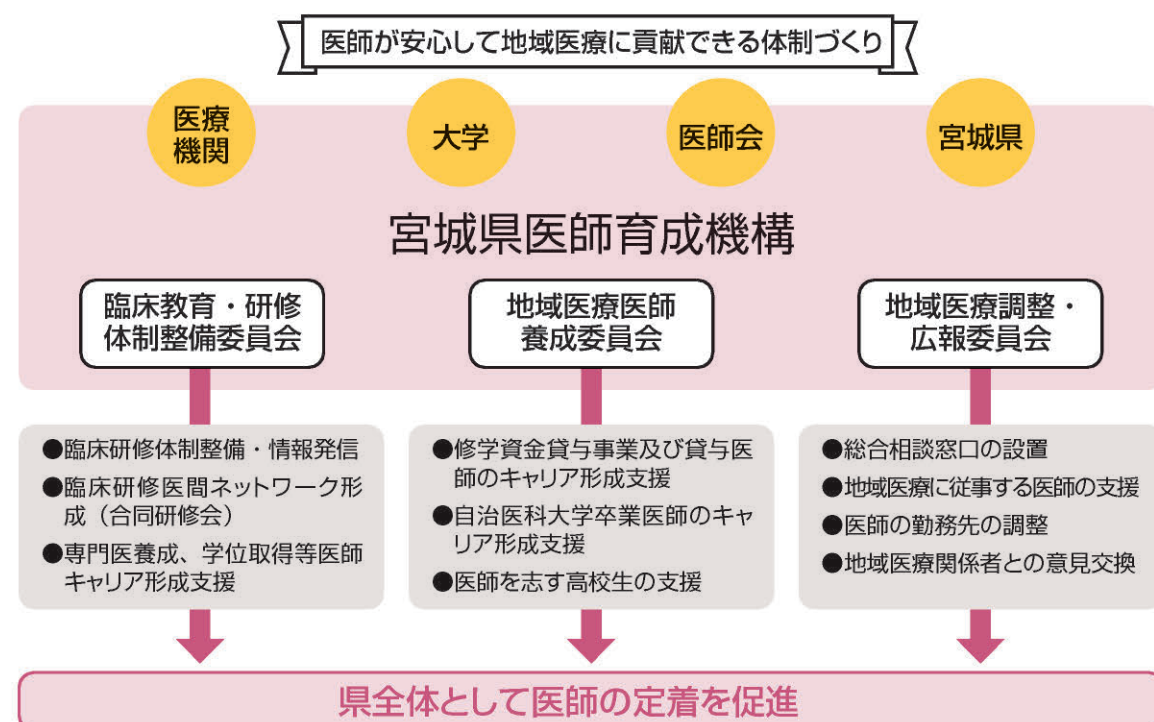
みやぎの地域医療を支えてくださる医師の皆さまを全力でサポートします！

宮城県医師育成機構とは？

医師のキャリア形成支援や臨床研修医同士のネットワーク形成、他県からの医師招へい活動、これから医師を目指す高校生の支援など、幅広い取組みを通じて、医師にとって魅力ある医療環境を構築し、「みやぎの地域医療と、それを支える医師の人生」の充実・共栄を図るため、平成23年2月に発足しました。

大学（東北大学、東北医科薬科大学 ※ H28.4～）、医師会、医療機関、宮城県の4者が合同で設置・運営しています。

機構の組織とミッション



主な取組

実施時期	取組内容
4月上旬	第1回臨床研修医合同研修会「ウェルカムみやぎ」開催
4月～	医学生修学資金貸付者募集
4～5月、12月	短期海外研修の実施（年に2回）
8月	医学生夏季セミナー
10月	第2回臨床研修医合同研修会開催
1月	奨学生の集い

この他、各種学会、レジナビへの出展、ウェブサイトへの広告掲載等、さまざまな活動を行っています！



H23.2.8の設立総会

臨床研修医合同研修会

令和4年4月から宮城県で医師生活をスタートした方は約170人！

例年、宮城県医師育成機構では、4月から宮城県で臨床研修を開始する研修医を一堂に集め、病院の垣根を越えて交流できる「春のウェルカムみやぎ」と、より実践的な症例検討等を行う「秋の合同研修会」を開催し、2年間の研修をより充実したものにするためのサポートを行っています。

令和2年度から令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、残念ながら研修会は中止となりましたが、令和5年度以降は、状況を注視しつつ、開催に向けて検討してまいります。

春のウェルカムみやぎ

4月に開催する「春のウェルカムみやぎ」では、県内医療に関する講演や意見交換会を行い、同世代の交流を深めます。



秋の合同研修会

鑑別診断の神様 × 研修医&指導医

「秋の合同研修会」では、平成26年度から「鑑別診断の神様」と呼ばれ、世界で最も優れた内科臨床医の一人である Dr. ティアーニー※をお招きし、ケースカンファレンスを実施しています。

※Lawrence M. Tierney Jr. カリフォルニア大学サンフランシスコ校 内科学教授



臨床研修医合同研修会の代替として、令和3年度は研修医の皆様へ知事及び宮城県医師会副会長からのメッセージや各種資料、ドクターむすび丸が描かれたマスクケースを配布しました。

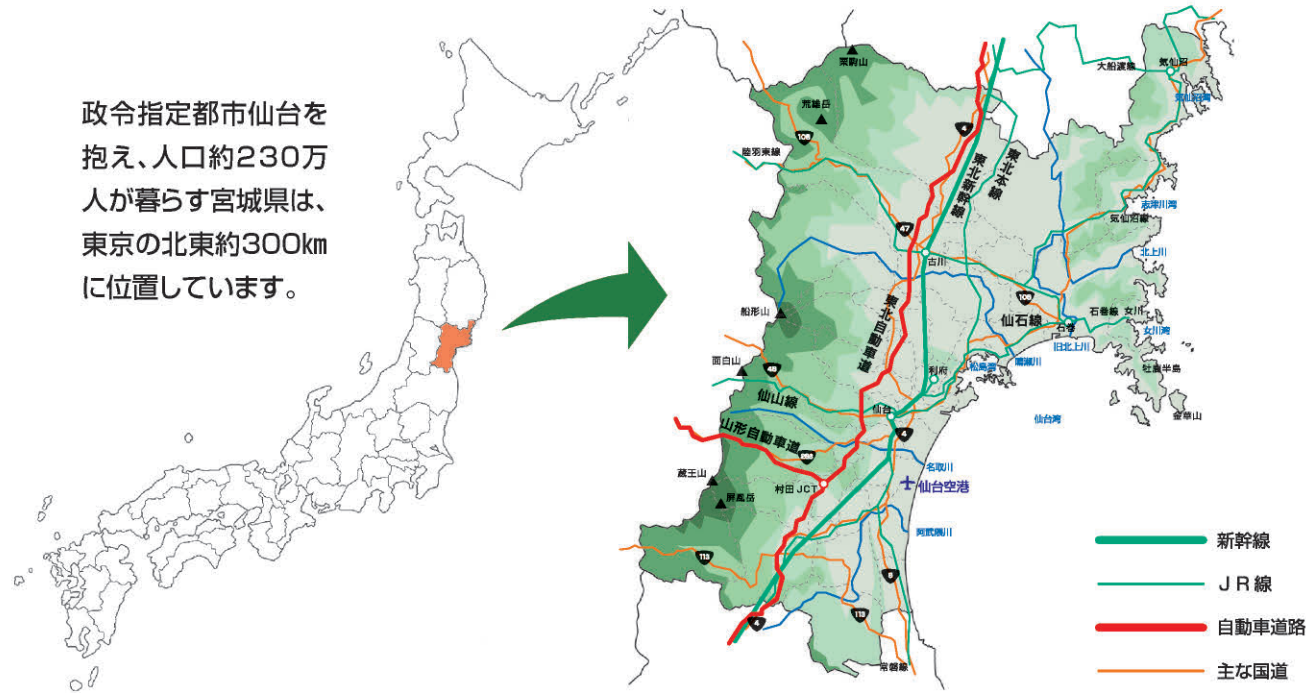
理事長及び先輩医師からのビデオメッセージ、当機構の概要や宮城県の魅力を紹介する動画を配信しました。



宮城県は こんな所です

自然と歴史が育んだ豊かな、暮らし・文化・環境。
誰もが“住みたくなる”魅力にあふれています。

政令指定都市仙台を抱え、人口約230万人が暮らす宮城県は、東京の北東約300kmに位置しています。



宮城県は全国各地から好アクセス！

首都圏から 飛行機なら最短**約70分**、新幹線で最短**約90分**



成田空港 — 仙台空港 …… 約70分
新千歳空港 — 仙台空港 …… 約70分
伊丹空港 — 仙台空港 …… 約70分
福岡空港 — 仙台空港 …… 約100分



東京駅 — 仙台駅 …… 約90分
横浜駅 — 仙台駅 …… 約120分
名古屋駅 — 仙台駅 …… 約190分
※ 乗換時間を含まず

国内航空路線(定期便) 10路線

新千歳、成田、中部、伊丹、関西、神戸、出雲、広島、福岡、那覇

国際航空路線(定期便) 5路線

ソウル、上海、大連 / 北京、台北、バンコク

※ 令和4年4月1日現在

みやぎの美しい自然

国立・国定公園や日本三景の松島など、海・山・川の自然に恵まれ、温泉やゴルフ場、スキー場もあり、四季折々の味覚やレジャーを楽しむことができます。



日本三景・松島



秋保温泉



国営みちのく杜の湖畔公園

食材王国みやぎ

お米、仙台牛、カキ、笹かまぼこ、フカヒレ、ずんだなど、宮城県は海・山・大地にはぐまれた多彩な食べものが新鮮で豊富です。



牛タン



笹かまぼこ



フカヒレ



ずんだ

みやぎのゆるキャラ

豊かな食と文化に恵まれた宮城を「おにぎり」で表現し、「伊達」を象徴する伊達政宗公の兜の飾りをつけて擬人化した、宮城県観光PRキャラクターです。

趣味…昼寝、温泉めぐり
好きな食べ物…三陸沖で取れる魚。特にサンマ。わかめの味噌汁がつくと最高!



むすび丸

みやぎのプロスポーツ

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やプロサッカー「ベガルタ仙台」「マイナビ仙台レディース」、そしてプロバスケットボール「仙台89ERS」の本拠地で、プロスポーツ観戦を楽しむことができます。



©Rakuten Eagles



©VEGALTA SENDAI



©SENDAI 89ERS



©mynavisendai

みやぎのイベント

夏は仙台七夕や塩竈みなと祭、冬は仙台光のページェントなど、季節によって様々なイベントで宮城県が盛り上がります。



仙台七夕



塩竈みなと祭



仙台光のページェント

宮城県医師会女性医師支援センター

Miyagi Career Support Center for Women Physicians

あなたが生き生きと働くために!!

●出産、育児、介護などで「退職」を考えてしまう……

宮城県医師会女性医師支援センターでは、勤務環境改善の支援のサポートを行っています。さまざまな支援を利用して、個々の多様な希望勤務形態パターンをデザインすることができます。

●育児をしながら働くことが不安、大変……

「働くために預ける」から「安心して働ける」という意識に！
子育て支援のご相談も受け付けています。院内保育室情報もホームページに掲載しています。

●ブランクがあるけれど復職したい！

復職希望者を雇用し、再教育研修を行うシステムを構築しています。
東北大学総合地域医療センターと連携し、その人に合った再教育や研修のプログラムを考えます。

その他、ご相談に関しましてはホームページより相談内容をお送りいただくか、電話でも受け付けています！

先輩女性医師が相談にのり
皆さんの問題解決に努力します！



●WEB からのご相談

<http://www.miyagi.med.or.jp/woman/>

●電話でのご相談（受付時間 平日9:00～18:00）022-227-1591

宮城県医師会女性医師支援センター

〒980-8633 仙台市青葉区大手町1番5号 TEL 022-227-1591
宮城県医師会館内 FAX 022-266-1480

宮城県医師会女性医師支援センターの活動

相談受付の他にもさまざまな活動をしています！

県内各地でのセミナー開催

ワーク・ライフ・バランスやキャリアデザインに役立つ内容の講演を行ったり、病院を訪問し勤務環境についてディスカッションを行っています。



これまでの主な活動

第12回女性医師支援セミナー — 「広がれ！イクボスの輪」

第13回キャリア支援セミナー — 「広がれ！イクボスの輪2019」
(旧女性医師支援セミナー)

女性医師支援センター意見交換会

医学生・研修医支援セミナー — 「キャリア形成のヒント～私の選んだ道」

仙台市内の病院訪問 — 仙台赤十字病院、国立病院機構仙台医療センター、
仙台市立病院、中嶋病院 他

仙南地区の病院訪問 — みやぎ県南中核病院、総合南東北病院 他

仙北地区の病院訪問 — 石巻赤十字病院、大崎市民病院 他

仙塩地区の病院訪問 — 坂総合病院

セミナー内容の一例

医学生・研修医支援セミナー テーマ「私がこの科を選んだ理由」

先生方に科を選択した理由についてお話をいただいています

これまでお話をいただいた先生方の診療科 —

眼科、消化器内科、消化器外科、整形外科、小児科、救命救急センター、血液内科、精神科、
呼吸器内科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理部、心療内科、泌尿器科 …etc.

ホームページにも情報を掲載いたしますので、興味のある方はぜひご参加ください！

託児サービス併設費用の補助

勉強会等で託児室を設置した際の、費用の助成を行っています。
(上限2万円)

詳細はホームページをご覧ください！
<http://www.miyagi.med.or.jp/woman/>

